

厚生労働大臣 殿

学校法人 産業医科大学
理事長 大石 啓

産業医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1. 高度の医療の提供の実績→別紙参照(様式第10)
- 2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績→別紙参照(様式第11)
- 3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	197 人
--------	-------

- 4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法(平成19年10月1日現在)
→別紙参照(様式第12)
- 5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→別紙参照(様式第13)
- 7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	286人	1人	286.4人	看護業務補助	64人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	7人	1人	7.4人	理学療法士	6人	臨床 臨床検査技師	45人
薬剤師	30人	0人	30.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	1人	0人	1人	視能訓練士	3人	検査 その他	0人
助産師	8人	0人	8.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	525人	10人	532.7人	臨床工学技士	5人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	1人	その他の技術員	1人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	55人
管理栄養士	3人	0人	3.0人	診療放射線技師	25人	その他の職員	13人

- 8. 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	541.8人	8.0人	549.8人
1日当たり平均外来患者数	1,357.5人	36.8人	1,394.3人
1日当たり平均調剤数		746.0 剤	

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	(有)・無	0人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	0人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	0人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	0人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	0人
・人工中耳	有・無	0人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	0人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	0人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	0人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	0人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	0人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	0人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	0人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	0人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	0人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	0人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	0人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	0人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	0人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	0人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	0人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	0人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	0人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	0人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	0人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	0人
・成長障害のDNA診断	有・無	0人
・生体部分肺移植術	有・無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	0人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	0人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	(有)・無	0人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	0人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	0人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	0人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	(有)・無	6人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	0人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・無	0人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・無	0人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	0人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	0人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	0人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・無	0人
・顎顔面補綴	有・無	0人
・顎関節症の補綴学的治療	有・無	0人
・歯周組織再生誘導法	有・無	0人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・無	0人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	0人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・無	0人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・無	0人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・無	0人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・無	0人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	0人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・無	0人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	0人
強度変調放射線治療	有・無	0人
胎児心超音波検査	有・無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	0人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・無	0人
インプラント義歯	有・無	0人
顎顔面補綴	有・無	0人
人工中耳	有・無	0人
歯周組織再生誘導法	有・無	0人
抗がん剤感受性試験	有・無	0人
腹腔鏡下肝切除術	有・無	0人
生体部分肺移植術	有・無	0人
活性化血小板の検出	有・無	0人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
超音波骨折治療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
眼底三次元画像解析	有・ <input type="radio"/> 無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	0人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	0人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	61人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	20人
・多発性硬化症	36人	・ウェゲナー肉芽腫症	7人
・重症筋無力症	65人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	15人
・全身性エリテマトーデス	221人	・多系統萎縮症	19人
・スモン	3人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	34人	・膿疱性乾癬	0人
・サルコイドーシス	45人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・筋萎縮性側索硬化症	16人	・原発性胆汁性肝硬変	25人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	116人	・重症急性膵炎	7人
・特発性血小板減少性紫斑病	34人	・特発性大腿骨頭壊死症	27人
・結節性動脈周囲炎	23人	・混合性結合組織病	40人
・潰瘍性大腸炎	78人	・原発性免疫不全症候群	2人
・大動脈炎症候群	11人	・特発性間質性肺炎	11人
・ピュルガー病	3人	・網膜色素変性症	19人
・天疱瘡	8人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	42人	・原発性肺高血圧症	5人
・クローン病	31人	・神経線維腫症	8人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	31人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	118人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	6人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	35人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に1回程度		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	29 例	剖検率 12.4 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

(平成18年度分)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
免疫疾患の既存治療法の評価とその合併症に対する研究	田中 良哉	第1内科	13,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
関節リウマチ治療における新規生物学的製剤の治療方針の作成及びその検証に関する研究	田中 良哉	第1内科	1,500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究	田中 良哉	第1内科	600,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
免疫疾患に対する免疫抑制療法等先端的新規治療法に関する研究	田中 良哉	第1内科	2,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
自己免疫疾患に関する調査研究	田中 良哉	第1内科	2,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
免疫疾患の既存治療法の評価とその合併症に関する研究	齊藤 和義	第1内科	500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
マスト細胞制御による関節リウマチ・自己免疫疾患の新規治療概念の創出	吾妻 妙子	第1内科	1,200,000 円	補 文部科学科学研究費 委
ヘパラン硫酸糖鎖伸長を標的とした関節リウマチ治療の新戦略	岩田 滋	第1内科	1,200,000 円	補 文部科学科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
Rho発現制御による多面的細胞機能の誘導と関節リウマチへの治療応用	中山田 真吾	第1内科	1,800,000円	補 文部科学科学研究費委
成人T細胞白血病における遺伝子修復機構の回復による発症予防	森本 浩章	第1内科	1,800,000円	補 文部科学科学研究費委
dendライトを起点とするストレスに対するサーベイランスとシグナルネットワーク形成	田中 良哉	第1内科	9,900,000円	補 日本学術振興会科学研究費委
関節リウマチに伴う骨関節破壊・骨粗鬆症治療戦略確立のための探索的研究	岡田 洋右	第1内科	2,400,000円	補 日本学術振興会科学研究費委
炎症性サイトカイン遺伝子の発現を抑制する新規転写抑制因子による炎症病態の治療戦略	齋藤 和義	第1内科	2,000,000円	補 日本学術振興会科学研究費委
関節リウマチに対するTNF阻害療法中のニューモシテリス肺炎予防指針の確立	齋藤 和義	第1内科	300,000円	補 日本学術振興会科学研究費委
職場における心臓突然死や事故発生に及ぼす失神・睡眠障害等の潜在危険因子の早期発見とその対策に関する総合的研究	安部 治彦	第2内科	6,000,000円	補 厚生労働科学研究費委
心エコー法による弁輪縫縮術後の虚血性僧帽弁逆流の発生機序:後尖可動性低下の重要性	尾辻 豊	第2内科	800,000円	補 日本学術振興会科学研究費委
生活習慣病の本態解明とその制圧を目指した基盤研究	中島 康秀	第2内科	1,800,000円	補 日本学術振興会科学研究費委

9件
17件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元及び委託元
神経調節性失神の病態機序解明と新しいトレーニング治療法の確立	安部 治彦	第2内科	900,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
実験的肺動脈性肺高血圧症の細胞外スーパーオキシド・デイスターゼによる抑制	太崎 博美	第2内科	2,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
難治性障害に関する調査研究	大槻 真	第3内科	28,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
障害分泌ペースメーカー機構の解明	山本 光勝	第3内科	1,000,000 円	補 文部科学科学研究費 委
腸前駆細胞の障害房細胞化による新しい障害分泌機能不全に対する治療法の開発	田口 雅史	第3内科	400,000 円	補 文部科学科学研究費 委
変異型エンドセリン受容体、エンドセリンアンチセンスによる慢性障害遺伝子治療の試み	木原 康之	第3内科	700,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
アルコール性障害の病態の解明と治療法の開発	田代 充生	第3内科	400,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
補足運動野連続磁気刺激による大脳基底核疾患治療の開発	辻 貞俊	神経内科	17,600,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
ジストニアの疫学、病態、治療に関する研究	辻 貞俊	神経内科	700,000 円	補 厚生労働省精神・神経 疾患委託費 委

9件
26件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
機能画像を使った自律訓練法の脳内メカニズムの解明	児玉 直樹	神経内科	1,300,000 円	⑧ 補 文部科学科学研究費委
神経細胞間電気的共役の神経疾患への関与:gap junction機能の解明	辻 貞俊	神経内科	2,200,000 円	⑧ 補 日本学術振興会科学研究費委
心因性発熱の機序解明のための臨床および基礎研究	岡 孝和	神経内科	2,200,000 円	⑧ 補 日本学術振興会科学研究費委
職場における心臓突然死や事故発生に及ぼす失神・睡眠障害等の潜在危険因子の早期発見とその対策に関する総合的研究	中村 純	神経・精神科	1,000,000 円	⑧ 補 厚生労働科学研究費委
難治性うつ病の治療反応性予測と客観的診断法に関する生物・心理・社会的統合研究	中村 純	神経・精神科	2,500,000 円	⑧ 補 厚生労働科学研究費委
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	中村 純	神経・精神科	1,100,000 円	補 厚生労働省精神・神経疾患委託費 ⑨ 委
早期精神病の予防、早期治療および病態解明に関する臨床的研究	中村 純	神経・精神科	1,000,000 円	補 厚生労働省精神・神経疾患委託費 ⑨ 委
統合失調症の病態、治療薬への反応性、および副作用出現に関する分子遺伝学的研究	新開 隆弘	神経・精神科	2,200,000 円	⑧ 補 日本学術振興会科学研究費委
地域民生委員に対する精神障害の啓蒙教育に関する研究	小嶋 秀幹	神経・精神科	900,000 円	⑧ 補 日本学術振興会科学研究費委

9 件
35 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
特殊免疫グロブリンの国内製造に係わる基礎整備に関する研究	白幡 聡	小児科	2,500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
胎児・新生児期での栄養代謝の変動の脳内摂食調節機構発達及び生活習慣病発症への影響	山本 幸代	小児科	2,300,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
高齢者の腰痛に及ぼす脊柱変形、生活習慣要因および生活習慣病の影響と相互作用の解明	中村 利孝	整形外科	16,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
骨粗鬆症性骨折の実態調査および全国的診療データベース構築の研究	中村 利孝	整形外科	500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
開眼片脚起立運動訓練による大腿骨頸部骨密度の改善と維持の証明並びに筋力・バランス能の改善による転倒・骨折予防への介入調査	酒井 昭典	整形外科	1,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
高齢者の生活の質を低下させる筋骨格系退行変化の危険因子分析	成澤 研一郎	整形外科	2,500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
間欠的荷重負荷による骨の構造強化作用における低リポ蛋白受容体シグナルの役割解明	中村 利孝	整形外科	2,800,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
骨・骨髄損傷後の修復過程における骨と血管のシグナルネットワークの解明	酒井 昭典	整形外科	2,800,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
ヒト大腸癌におけるイノシトール3リン酸受容体発現の意義とその重要性	柴尾 和徳	第1外科	1,800,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委

9件
44件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
肺癌における分子標的としての上皮成長因子受容体遺伝子の薬剤感受性と耐性機序の解明	杉尾 賢二	第2外科	2,000,000 円	補 文部科学科学研究費委
肺癌の免疫逃避機構の解明:HLA発現異常の面から	市来 嘉伸	第2外科	2,000,000 円	補 文部科学科学研究費委
食道・肺の発癌における喫煙・飲酒の標的遺伝子の解明	浦本 秀隆	第2外科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
肺癌における遺伝子診断による分子ステージングの確立と治療指針の開発	杉尾 賢二	第2外科	3,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
胸膜中皮腫に対する新しい腫瘍抗原の探索と診断及び治療への応用	菅谷 将一	第2外科	2,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
腫瘍内浸潤B細胞の認識する抗原に対する抗体療法の開発	竹之山 光広	第2外科	1,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
安全性評価のための動物実験代替法の開発および評価体制の確立に関する研究	戸倉 新樹	皮膚科	2,500,000 円	補 厚生労働科学研究費委
成人T細胞性白血病腫瘍細胞の制御性T細胞としての特性についての研究	島内 隆寿	皮膚科	600,000 円	補 文部科学科学研究費委
蚊唾液腺抽出物に対する重症蚊アレルギー患者のリンパ球反応とその抗原の同定	古賀 千律子	皮膚科	1,100,000 円	補 文部科学科学研究費委

9件
53件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
好酸球性光線過敏型薬疹のマウスモデルの確立と免疫学的機構解明	戸倉 新樹	皮膚科	1,800,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
性感染症に関する特定感染症予防指針の推進に関する研究	松本 哲朗	泌尿器科	2,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
間質性膀胱炎モデルにおけるよりよい水圧拡張術と新たな薬物治療の開発	寺戸 三千代	泌尿器科	1,800,000 円	補 文部科学科学研究費 委
行動及び内分泌機能の性分化におけるエストロゲンレセプターの役割解明	野村 昌良	泌尿器科	1,800,000 円	補 文部科学科学研究費 委
病態に応じた慢性前立腺炎モデルの確立と新たな治療の開発	松本 哲朗	泌尿器科	1,800,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
ホルモン感受性変化を中心とした前立腺癌ホルモン抵抗性の機序の解明	藤本 直浩	泌尿器科	800,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
緑内障発症に関する房水流出路細胞外マトリックスの多面的研究	田原 昭彦	眼科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
緑内障の病因に関する細胞生物学的研究ーステロイド緑内障からのアプローチー	久保田 敏昭	眼科	1,500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
職場における心臓突然死や事故発生に及ぼす失神・睡眠障害等の潜在危険因子の早期発見とその対策に関する総合的研究	鈴木 秀明	耳鼻咽喉科	500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委

9件
62件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
鼻アレルギーの鼻粘膜上皮における黄色ブドウ球菌の定着メカニズム	塩盛 輝夫	耳鼻咽喉科	500,000 円	補 文部科学科学研究費 委
頭部外傷による聴覚障害の成因と再生に関する研究	得居 直公	耳鼻咽喉科	900,000 円	補 文部科学科学研究費 委
内耳血管条中間細胞の辺縁細胞と毛細血管に対する相互作用	藤村 武之	耳鼻咽喉科	1,400,000 円	補 文部科学科学研究費 委
上皮細胞のタイト結合と細胞増殖因子からみた鼻茸形成のメカニズム	鈴木 秀明	耳鼻咽喉科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学研 究費 委
子宮内胎児発育遅延における胎盤アミノ酸輸送の研究	柴田 英治	産婦人科	1,290,000 円	補 文部科学科学研究費 委
選択的エストロゲン受容体調節薬の子宮内膜における造腫瘍能の検討	蜂須賀 徹	産婦人科	700,000 円	補 日本学術振興会科学研 究費 委
直接変換方式フラットパネル検出器を用いた血管造影の有用性と被曝低減に関する研究	掛田 伸吾	放射線科	1,900,000 円	補 文部科学科学研究費 委
MRAによる未破裂脳動脈瘤検出のためのコンピュータ支援画像診断に関する研究	興梠 征典	放射線科	800,000 円	補 日本学術振興会科学研 究費 委
麻酔薬・鎮痛薬のナトリウムチャネルに対する作用機序及び作用部位の解析	白石 宗大	麻酔科	1,000,000 円	補 文部科学科学研究費 委

9件
71件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
鎮痛薬のGABAA、グリシン、NMDA受容体、GIRKチャンネルに及ぼす作用	原 幸治	麻酔科	1,600,000 円	補 文部科学科学研究費委
侵害刺激に対するアセチルカルニチンの鎮痛効果について	田村 仁美	麻酔科	1,300,000 円	補 文部科学科学研究費委
脊椎後根神経節細胞における未知なる痛覚伝達物質の検索および機能解析	南 浩一郎	麻酔科	1,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
ヒト単球、好中球のミトコンドリア機能に与える手術侵襲・麻酔薬の影響について	緒方 政則	麻酔科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
スモンに関する調査研究	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	900,000 円	補 厚生労働科学研究費委
歩行支援ロボットを用いた片麻痺患者の歩行訓練と大脳機能賦活に関する臨床的研究	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	9,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
T4口腔がんの制御とQOL障害の回避	大矢 亮一	歯科・口腔外科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
W11癌抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法の開発	塚田 順一	化学療法センター	800,000 円	補 厚生労働科学研究費委
Toll-likeレセプターシグナルの制御による成人T細胞白血病細胞の増殖抑制	塚田 順一	化学療法センター	1,700,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委

9件
80件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
重炭酸含有チューインガムによる胃食道逆流症の治療	芳川 一郎	内視鏡部	300,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
致死性不整脈の発症に関わるイオンチャンネルの内因性メカニズムの解明	長友 敏寿	臨床研修等指導教員	1,100,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
内分泌かく乱物質のカテコールアミン神経系への影響とその受容体の検索	高橋 浩二郎	薬剤部	1,500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
ガレワチン9を用いた新規白血病治療薬及び骨粗鬆症治療薬の開発	田中 良哉	第1内科	1,500,000 円	補 (株)ガルファーマ 委
芦屋町における児童生徒の保健管理に関する調査	太崎 博美	第2内科	1,000,000 円	補 芦屋町 委
HIV感染者等保健福祉相談推進研究事業	白幡 聡	小児科	1,890,000 円	補 (財)エイズ予防財団 委
新規アトピー性皮膚炎治療剤の薬理機序の解明	戸倉 新樹	皮膚科	3,300,000 円	補 科研製薬(株) 委
ケトプロフェンの光線過敏症メカニズム解明に関する研究	戸倉 新樹	皮膚科	1,000,000 円	補 久光製薬(株) 委
新規抗原蛋白デリバリーシステムによる多価性癌ワクチンの研究	安元 公正	第2外科	8,000,000 円	補 文部科学省 委
高次脳機能障害者支援モデル事業	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	4,742,930 円	補 福岡県 委

10件
90件

2 論文発表等の実績（平成 18 年度実績）

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
痛みと臨床 6 :167 - 172 (2006 年 4 月)	ステロイド性骨粗鬆症の一次予防	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
腎と骨代謝 19 :121 - 128 (2006 年 4 月)	ステロイド性骨粗鬆症の治療のエビデンス	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
内科 97 :672 - 675 (2006 年 4 月)	ステロイド誘発骨粗鬆症	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝 内科
臨牀と研究 83:566 - 572 (2006 年 4 月)	北九州地区における 2 型糖尿病患者の合併症調査	新生 忠司	免疫・内分泌代謝 内科
Ann Rheum Dis 65 :508 - 514 (2006 年 4 月)	A phase I-II trial of autologous peripheral blood stem cell transplantation in the treatment of refractory autoimmune disease	Tanaka, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
分子呼吸器病 10:247 - 249 (2006 年 5 月)	リツキシマブと新たな臨床応用展開	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
Biochem Bioph Res Co 344 :780 - 785 (2006 年 5 月)	Increased expression levels of monocyte CCR2 and monocyte chemoattractant protein-1 in patients with diabetes mellitus	Mine, S.	免疫・内分泌代謝 内科
Medical Practice 23 :568 - 575 (2006 年 5 月)	全身性エリテマトーデスの最新治療とその有用性	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
内科 97:947 - 950 (2006 年 5 月)	副交感神経症状を契機に thiamazole 内服によるインスリン自己免疫症候群と診断しえた 1 例	森 博子	免疫・内分泌代謝 内科
臨床免疫 45:29 - 34 (2006 年 6 月)	SLE 患者 T 細胞における $\beta 1$ インテグリンの意義	中山田 真吾	免疫・内分泌代謝 内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
リウマチ科 35:429 - 433 (2006年6月)	関節リウマチに対するインフリキシマブ使用の実際	名和田 雅夫	免疫・内分泌代謝内科
リウマチ科 35:469 - 475 (2006年6月)	リツキシマの概要と欧米におけるエビデンス	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
アレルギー科 21:505 - 510 (2006年6月)	自己免疫疾患の抗体治療の現況	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ (2):197-200 (2006年6月)	原発性低マグネシウム血症	岡田 洋右	免疫・内分泌代謝内科
最新医学 61:975 - 981 (2006年6月)	抗 CD20 抗体	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝内科
最新医学 61:915 - 916 (2006年6月)	序論—自己免疫疾患治療の新時代の幕開け—	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
整形・災害外科 49:667 - 675 (2006年6月)	インフリキシマブ	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝内科
Diabetes Frontier 17:384 - 388 (2006年6月)	糖尿病合併症高血圧患者の外来随時血圧、早朝家庭血圧およびインスリン抵抗性の改善に関するテルミサルタンの効果の検討	新生 忠司	免疫・内分泌代謝内科
Clinical Immunology 119:297 - 306 (2006年6月)	Abnormal intracellular distribution of NFAT1 in T lymphocytes from patients with systemic lupus erythematosus and characteristic clinical features	Iwata, S.	免疫・内分泌代謝内科
炎症と免疫 14:505 - 511 (2006年6月)	TNF と動脈硬化	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科

10件

20件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
炎症と免疫 14:556 - 559 (2006年6月)	ステロイド治療抵抗性と生物学的製剤による克服	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
Medicina 43:976-978 (2006年6月)	生物学的製剤による抗細胞表面分子療法	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
整形・災害外科 49:666 - 666 (2006年6月)	関節リウマチに対する生物学的製剤の効果と問題点	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
内科 97:1232 - 1233 (2006年6月)	混合性結合組織病	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
J UOEH 28:185-191 (2006年6月)	Intravenous cyclophosphamide pulse therapy is effective for refractory Graves' ophthalmopathy	Tanikawa, T.	免疫・内分泌代謝 内科
血液フロンティア 16:1061-1070 (2006年7月)	各種病態での骨髄間質の異常—骨粗鬆症—	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
糖尿病合併症 20:41 - 44 (2006年7月)	免疫と糖尿病—オーバービュー—	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
リウマチ科 35:79 - 86 (2006年7月)	膠原病に合併するニューモシスチス肺炎の早期診断、早期治療	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝 内科
治療学 40:781 - 785 (2006年7月)	生物学的製剤の現状と展望	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
CLINICAL CALCIUM 16:1315-1320 (2006年7月)	糖尿病性血管石灰化と骨代謝異常—骨血管相関—	岡田 洋右	免疫・内分泌代謝 内科

10件

30件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
プラクティス 23:448 - 451 (2006年7月)	躁うつ病に伴う食行動異常により著明な高脂血症および高血糖をきたしたと考えられた1例	新生 忠司	免疫・内分泌代謝内科
糖尿病合併症 20:63 - 64 (2006年7月)	免疫と糖尿病—イムノダイアベトロジーの幕開け—	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
流 247:18 - 27 (2006年7月)	関節リウマチ治療の最先端へリウマチはなおせるかもしれない—	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
BIO Clinica 21:915 - 919 (2006年8月)	全身性エリテマトーデスに対する抗 CD20 モノクローナル抗体	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
炎症と免疫 14:607 - 611 (2006年8月)	マスト細胞からみた自己免疫疾患の病態と治療の新展開	澤向 範文	免疫・内分泌代謝内科
炎症と免疫 14:662 - 666 (2006年8月)	抗 CD20 抗体による SLE の治療	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
リウマチ科 36(1):108-114 (2006年8月)	ステロイド性骨粗鬆症の予防と治療	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
日本医師会雑誌 135:1053 - 1056 (2006年8月)	ステロイド薬の選び方と使用法のコツ	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
分子リウマチ 3:185 - 186 (2006年9月)	自己免疫疾患に関与する役者たち	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
分子リウマチ 3:247 - 251 (2006年9月)	RA に対する抗 CD20 抗体療法—寛解導入は可能か—	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科

10件

40件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
分子リウマチ 3:204 - 209 (2006年9月)	自己反応性B細胞による病態形成	野島 崇樹	免疫・内分泌代謝 内科
糖尿病 49:637 - 643 (2006年9月)	IGT患者における1泊2日短期教育入院の 糖尿病進展予防効果	河原 哲也	免疫・内分泌代謝 内科
ホルモンと臨床 54:783 - 789 (2006年9月)	生物学的製剤による関節リウマチ治療と関 節破壊の改善	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
内科 98:725 - 729 (2006年9月)	喫煙を契機に急性好酸球性肺炎を発症した と考えられた汎下垂体機能低下症 の1例	森 博子	免疫・内分泌代謝 内科
内科 98:731 - 734 (2006年9月)	多量の胸腹水貯留がステロイド投与により 著減した自己免疫性多腺性内分泌不全症 Ⅱ型 (Schmidt 症候群) の1例	河原 哲也	免疫・内分泌代謝 内科
臨床リウマチ 18:272 - 276 (2006年9月)	重症 RA に対する新規生物学的製剤へ適応 とリスクマネージメントへ	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
APLAR J Rheumatol 9:413 - 418 (2006年9月)	Anti-CD20 and other novel biotherapies for systemic lupus erythematosus	Tanaka, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
Visual Dermatology 5:1017 - 1019 (2006年9月)	P糖蛋白質関連	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
日本内科学会雑誌 95:177 - 182 (2006年10月)	炎症性免疫疾患に対する抗 CD20 抗体	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
Genes to Cells 11 :983 - 992 (2006年10月)	Growth suppression of human mast cells expressing constitutively active c-kit receptors by JNK inhibitor SP600125	Tsukada, J.	免疫・内分泌代謝 内科

10件

50件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
ホルモンと臨床 54:132 - 137 (2006年10月)	著明な骨粗鬆症により flail chest をきたした原発性副甲状腺機能亢進症の1例	神田 加壽子	免疫・内分泌代謝 内科
診断と治療 94:1939 - 1944 (2006年10月)	生物学的製剤	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
内科 98:897 - 901 (2006年10月)	若年者におけるステロイド誘発性骨粗鬆症のマネージメントビスホスホネートの立場から	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
リウマチ科 36:281 - 286 (2006年10月)	各種評価法を用いた最新治療評価の実際—インフリキシマブ有用性評価を例として—	名和田 雅夫	免疫・内分泌代謝 内科
Intern Med 45:1001 - 1005 (2006年10月)	Benign symmetric lipomatosis associated with alcoholism	Hirose, A.	免疫・内分泌代謝 内科
CLINICAL CALCIUM 16:1858 - 1865 (2006年11月)	ステロイド性骨粗鬆症の一次予防	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
日本臨床免疫学会会誌 29:319 - 324 (2006年11月)	膠原病治療に於ける薬剤抵抗性の臨床と基礎	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
Mebio 23:75 - 82 (2006年11月)	リツキシマブ：B細胞をターゲットにして何故効くのか？	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
臨床と研究 83:1752 - 1754 (2006年11月)	メシル酸カモスタット投与後に高カリウム血症を生じた一例	峯 信一郎	免疫・内分泌代謝 内科
日本臨床 64:2359 - 2366 (2006年12月)	関節リウマチと骨粗鬆症	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科

10件

60件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
感染 炎症 免疫 36:354 - 357 (2006年12月)	全身性エリテマトーデスと抗 CD20 抗体	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
臨床と研究 83:1833 - 1836 (2006年12月)	特発性大腿骨頭壊死症とステロイド代謝の 関連性・患者背景についての検討	新生 忠司	免疫・内分泌代謝 内科
Diabetes Frontier 17:799 - 804 (2006年12月)	蓄尿 C-ペプチドとインスリン使用量から みた強化インスリン療法後の内服薬への変 更の可否	河原 哲也	免疫・内分泌代謝 内科
Endocrine Journal 53:761 - 766 (2006年12月)	Serum Hyaluronan Concentration as a Marker of Angiopathy in Patients with Diabetes Mellitus	Mine, S.	免疫・内分泌代謝 内科
リウマチ科 36:552 - 556 (2006年12月)	どのような症例にインフリキシマブを使う か	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
リウマチ科 36:600 - 604 (2006年12月)	MMP-3 によるインフリキシマブ有効性の予 測	名和田 雅夫	免疫・内分泌代謝 内科
J Biol Chem 281 :38089 - 38097 (2006年12月)	Fragmented Hyaluronan induces Transcriptional Up-regulation of the Multidrug Resistance-1 Gene in CD4+T Cells	Tsujimura, S.	免疫・内分泌代謝 内科
リウマチ科 37:29 - 36 (2007年1月)	リツキシマブ—DANCER/REFLEX 試験が示す もの—	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝 内科
分子リウマチ 4:50 - 55 (2007年1月)	膠原病に合併するニューモシチス肺炎の 早期診断、早期治療	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝 内科
内科 99:183 - 186 (2007年1月)	無症候性副腎腫瘍で経過観察されていた発 作型褐色細胞腫の1例	新生 忠司	免疫・内分泌代謝 内科

10件

70件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本内科学会雑誌 96:138 - 140 (2007年1月)	長期経管栄養中に銅欠乏により白血球減少及びエリスロポエチン不応性貧血を来した1透析例	清水 少一	免疫・内分泌代謝内科
Apoptosis 12:45 - 54 (2007年1月)	Engagement of CD44 up-regulates Fas Ligand expression on T cells leading to activation-induced cell death	Saito, K.	免疫・内分泌代謝内科
治療 89:217 - 222 (2007年2月)	関節リウマチを疑う場合とその診断の進め方	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
治療 89:303 - 307 (2007年2月)	インフリキシマブの使い方と注意すべき副作用	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝内科
CLINICAL CALCIUM 17:386 - 390 (2007年2月)	ビスホスホネートと血管石灰化	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
細胞工学 26:286-290 (2007年2月)	我が国での抗体医薬	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
臨床と研究 84:245 - 247 (2007年2月)	膠原病患者における糖尿病合併についての検討	岩田 慈	免疫・内分泌代謝内科
Mod Rheumatol 17:28 - 32 (2007年2月)	Retrospective clinical study on the notable efficacy and related factors of infliximab therapy in a rheumatoid arthritis management group in Japan (RECONFIRM)	Tanaka, Y.	免疫・内分泌代謝内科
J Bone Miner Metab 25:138 - 141 (2007年2月)	A case of blue rubber bleb nevus syndrome treated by etidronate	Okada, Y.	免疫・内分泌代謝内科
総合臨床 56:469 - 473 (2007年3月)	今後期待される生物学的製剤	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科

10件

80件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pharma Medica 25 :83 - 88 (2007 年 3 月)	関節リウマチ治療のパラダイムシフト	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
痛みと臨床 7:193 - 199 (2007 年 3 月)	生物学的製剤の使い方	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
リウマチ科 37:256 - 261 (2007 年 3 月)	全身性エリテマトーデスに対する抗 CD20 モノクローナル抗体	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
CLINICAL CALCIUM 17 :157 - 163 (2007 年 3 月)	タクロリムスと関節破壊	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
糖尿病 50:207 - 211 (2007 年 3 月)	抗インスリン抗体陽性で反応性低血糖を合 併した1例	森 博子	免疫・内分泌代謝 内科
内科 (3) : 565-568 (2007 年 3 月)	急性肝不全および両心不全を併発し救命し えた甲状腺クリーゼの1例	廣瀬 暁子	免疫・内分泌代謝 内科
治療 88(4) :1313- 1316 (2006 年 4 月)	利尿剤を併用する場合の種類と量はどうぞ すればいいのか	山下 和仁	循環器・腎臓内科
心電図 26(3) :47-59 (2006 年 5 月)	神経調節性失神	安部 治彦	循環器・腎臓内科
Circulation Journal 70(6) :657 - 661 (2006 年 5 月)	Pharmacological conversion of persistent atrial fibrillation into sinus rhythm with oral pilsicainide -Pilsicainide suppression trial for persistent atrial fibrillation II	Abe, H.	循環器・腎臓内科
心臓 38(2) :7- 9 (2006 年 5 月)	難治性重症起立性低血圧に対する心房高頻 度ペーシングの効果	河野 律子	循環器・腎臓内科

10件

90件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
呼吸と循環 54(8):869-873 (2006年8月)	神経調節性失神に対する運動療法	河野 律子	循環器・腎臓内科
Therapeutic Research 27(9):1792 - 1794 (2006年9月)	心室ペースング部位の違いによる血行動態の検討右室心尖部ペースングと右室流出路ペースングの検討	河野 律子	循環器・腎臓内科
Arrhythmia Focus 20061(2):1 - 7 (2006年11月)	心室中隔ペースング	安部 治彦	循環器・腎臓内科
心電図 26(6):819-824 (2006年11月)	神経調節性失神患者に対する起立調節訓練の治療継続性と失神再発に関する検討	河野 律子	循環器・腎臓内科
INTERNATIONAL HEART JOURNAL 47(6):911-917 (2006年11月)	Bosentan Improved Syncope in a Hemodialysis Patient With Pulmonary Hypertension and Mild Aortic Stenosis	Yamanaka, A.	循環器・腎臓内科
Europace 8:1017-1021 (2006年12月)	The ACCF/AHA scientific statement on syncope. A document in need of thoughtful revision.	Abe, H.	循環器・腎臓内科
J Am Coll Cardiol 48(12):2598 - 2599 (2006年12月)	The ACCF/AHA scientific statement on syncope need rethinking	安部 治彦	循環器・腎臓内科
Clin Auton Res 16(6):363 - 368 (2006年12月)	The ACCF/AHA scientific statement on syncope. A document in need of thoughtful revision.	Abe, H.	循環器・腎臓内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol. 27(1):92 - 98 (2007年1月)	Statin Treatment Upregulates Vascular Neuronal Nitric Oxide Synthase Through Akt/NF-kappaB Pathway	Tasaki, H.	循環器・腎臓内科
PACE 30:S203-S206 (2007年1月)	Effects of atrial tachypacing on symptoms and blood pressure in severe orthostatic hypotension.	Kohno, R.	循環器・腎臓内科

10件

100件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本内科学会誌 96(1):150-152 (2007年1月)	脳髄黄色腫に微小変化型ネフローゼ症候群を合併した1例	芹野 良太	循環器・腎臓内科
心エコー 8(1):12 - 22 (2007年1月)	Tei index	尾辻 豊	循環器・腎臓内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol 292:H2824 - H2831 (2007年1月)	PTEN reduces cuff-induced neointima formation and proinflammatory cytokines	Okazaki, M.	循環器・腎臓内科
Arrhythmia Focus 2(Sup1):1 - 11 (2007年2月)	失神の診断・治療の現状	安部 治彦	循環器・腎臓内科
Arrhythmia Focus 2(Sup1):12-12 (2007年2月)	ワンポイントアドバイス。「失神発作」と「てんかん発作」の鑑別	安部 治彦	循環器・腎臓内科
Arrhythmia Focus 2(Sup1):13-13 (2007年2月)	ワンポイントアドバイス。神経調節性失神の非薬物治療	安部 治彦	循環器・腎臓内科
Arrhythmia Focus 2(Sup1):14-14 (2007年2月)	ワンポイントアドバイス。失神患者と自動車運転	安部 治彦	循環器・腎臓内科
World Gastroenterol 12(21):3314 - 3323 (2006年6月)	Consensus of primary care in acute pancreatitis in Japan.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
Dig Endosc 18(3):218 - 220 (2006年7月)	New device to perform coagulation and irrigation simultaneously during endoscopic submucosal dissection using an insulation-tipped electrosurgical knife.	Kume, K.	消化器・代謝内科
Gastrointest Endosc 64(1):108-112 (2006年7月)	Grasping forceps-assisted endoscopic mucosal resection of early gastric cancer with a novel 2-channel prelooped hood.	Kume, K.	消化器・代謝内科

10件

110件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastrointest Endosc 64(6):958 - 965 (2006年12月)	A novel method of endoscopic submucosal dissection with blunt abrasion by submucosal injection of sodium carboxymethylcellulose: an animal preliminary study.	Yamasaki, M.	消化器・代謝内科
Intern Med 46(2):109-113 (2007年1月)	Chronic pancreatitis and pancreatic cancer, lifestyle-related diseases.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
産婦治療 92:610 - 612 (2006年4月)	ストレスと漢方	岡 孝和	神経内科
臨床精神薬理 9(5):991-994 (2006年5月)	不安とストレス性高体温症	岡 孝和	神経内科
Supplements to Clinical Neurophysiology 59:143 - 147 (2006年6月)	High-frequency oscillations in the human motor system	Uozumi, T.	神経内科
Supplements to Clinical Neurophysiology 59:135 - 142 (2006年6月)	Mechanism of voluntary and involuntary movements in humans	Tsuji, S.	神経内科
Brain Med 18(2):73-75 (2006年7月)	What can we see in a single picture?	由比 友顕	神経内科
Supplements to Clinical Neurophysiology 59:159 - 165 (2006年7月)	Origine and characteristics of high-frequency (>500Hz) SEP components directly recorded from the cervical cord, thalamus, and cerebral cortex	Akamatsu, N.	神経内科
Evolv Kampo 2(1):54-57 (2006年7月)	Role of Kampo in Treating Stress-related Diseases and Pre-morbid Health Problems	Oka, T.	神経内科
産業医学レビュー 19(2):109-119 (2006年8月)	職業性ジストニア～我が国における現状～	玉川 聡	神経内科

10件

120件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨神経 46(8):572-574 (2006年8月)	IgG 抗カルジオリピン抗体高値をみとめ深部静脈血栓症をくりかえしたギラン・バレー症候群の1例	小堀 伸一郎	神経内科
Neurosci 141(2):1069-1086 (2006年9月)	<i>Prolactin-releasing peptide is a potent mediator of stress responses in the brain through the hypothalamic paraventricular nucleus</i>	Mera, T.	神経内科
J UOEH 28(3):265-275 (2006年9月)	<i>Cyclooxygenase System Contributes to the Maintenance of Post Convulsive Period of Epileptic Phenomena in the Genetically Epileptic EL Mice</i>	Okada, K.	神経内科
BRAIN RESEARCH 1102 :175-178 (2006年9月)	Ameliorative effect of pioglitazone on seizure responses in genetically epilepsy-susceptible EL mice	Okada, K.	神経内科
臨脳波 48(9):553-560 (2006年9月)	不随意運動の診かた(1)	魚住 武則	神経内科
心身医 46(10):907-913 (2006年10月)	心理社会的ストレスにより誘発された蕁麻疹の1例	林田 草太	神経内科
日心療内誌 10(4):243-246 (2006年10月)	37℃を境として体温上昇に伴い倦怠感が増強した慢性ストレス性高体温症の1例	岡 孝和	神経内科
心療内科 10(5):349-353 (2006年10月)	マレイン酸フルボキサミンが有効であったストレス性と考えられた微熱の1例	金田 悠子	神経内科
臨脳波 48(10):622-628 (2006年10月)	不随意運動の診かた(2)	魚住 武則	神経内科
神経内科 64(5):487-492 (2006年11月)	Parkinson 病での電気生理学的検査の意味	玉川 聡	神経内科

10件

130件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨脳波 48(11):657- 664 (2006年11月)	小脳磁気刺激の臨床応用	魚住 武則	神経内科
臨脳波 48(11):651- 655 (2006年11月)	ヒト運動野への transcranial DC stimulation が SEP に及ぼす効果	辻 貞俊	神経内科
Brain Med 18(3):77 - 79 (2006年11月)	What can we see in a single picture? クロイツフェルト・ヤコブ病 (GJD)	武井 崇展	神経内科
Brain Med 18(1):95 - 97 (2006年11月)	What can we see in a single picture? 脳髄黄色腫症 (Cerebrotendinous xanthomatosis)	武智 詩子	神経内科
神経治療 23(5):471- 472 (2006年11月)	特集/経頭蓋磁気刺激法 -脳刺激が神経・精神疾患の治療法として有用か-特集にあたって	辻 貞俊	神経内科
神経治療 23(5):489- 492 (2006年11月)	特集/経頭蓋磁気刺激法 -脳刺激が神経・精神疾患の治療法として有用か- 経頭蓋磁気刺激法のでんかん治療への応用	赤松 直樹	神経内科
臨脳波 48(11):651- 655 (2006年11月)	ヒト運動感覚野への transcranial DC stimulation が SEP に及ぼす効果	辻 貞俊	神経内科
Movement Disorders 21(11):1963 - 1966 (2006年11月)	Unilateral Positive-Negative Myoclonus in Creutzfeldt-Jakob Disease	Ohnari, K.	神経内科
American J of Medical Genetics Part B (Neuropsychiatric Genetics) 141B:929-934 (2006年12月)	Possible Role of Preproghrelin Gene Polymorphisms in Susceptibility to Bulimia Nervosa	Komaki, G.	神経内科
モダンフィジシャン 27(1):37- 39 (2007年1月)	ふるえとけいれんの鑑別のポイント	赤松 直樹	神経内科

10件

140件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Evolv Kampo 2(1):54 - 57 (2007年1月)	Role of Kampo in Treating Stress-related Diseases and Pre-morbid Health Problems	Oka, T.	神経内科
臨床神経科学 25(1):102-103 (2007年1月)	連続磁気刺激の実際	武智 詩子	神経内科
Clin Neurosci 25(3):308 - 311 (2007年3月)	進行性ミオクローヌスてんかん	赤松 直樹	神経内科
日アルコール精医誌 13(1):27-32 (2006年4月)	アルコール依存症を伴う double depression にパロキセチンが有効であった1症例：血中 catecholamine, BDNF, cytokines 動態からの検討	吉村 玲児	神経・精神科
臨精薬理 9(4):563- 569 (2006年4月)	抗うつ薬の効果と用量反応性	中村 純	神経・精神科
J Affect Disord 91(2-3):139- 144 (2006年4月)	Mental effect of cholesterol in males : Protective effect ?	Soeda, S.	神経・精神科
医薬ジャーナル 42(4):1215-1220 (2006年4月)	うつ病治療はこのように行われる—治療薬の使い分けとコツ—	吉村 玲児	神経・精神科
Pharm Med 24(5):15-18 (2006年5月)	職場のうつ病対策：早期発見から職場復帰まで	中村 純	神経・精神科
脳と循環 11(2):141-144 (2006年5月)	脳卒中患者のせん妄	中村 純	神経・精神科
Ther Res 27(5):869-886 (2006年5月)	うつ病・うつ状態およびパニック障害患者における塩酸パロキセチン水和物(パキシル錠)の長期使用に関する調査	中村 純	神経・精神科

10件

150件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
心療内科 10(3):174-178 (2006年5月)	自殺予防プログラム	小嶋 秀幹	神経・精神科
Eur Neuropsychopharmacol 16(4):248-259 (2006年5月)	Dopamine D2 receptor gene variants and quantitative measures of positive and negative symptom response following clozapine treatment	Shinkai, T.	神経・精神科
臨精薬理 9(6):1191-1197 (2006年6月)	Quetiapine への置換による血中プロラクチン濃度の変化	堀 広子	神経・精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 30(4):701-707 (2006年6月)	Risperidone in the treatment of psychotic depression	Goto, M.	神経・精神科
Psychiatry Clin Neurosci 60(3):389-393 (2006年6月)	Successful treatment for obsessive-compulsive disorder with addition of low-dose risperidone to fluvoxamine: Implications for plasma levels of catecholamine metabolites and serum brain-derived neurotrophic factor levels	Yoshimura, R.	神経・精神科
老年精医誌 17(6):638-643 (2006年6月)	高齢のせん妄患者に対する薬物療法	堀 広子	神経・精神科
福岡県医報 1373:5-5 (2006年7月)	自殺問題を考える	中村 純	神経・精神科
臨精薬理 9(8):1511-1518 (2006年8月)	自殺予防とうつ病の治療	吉村 玲児	神経・精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 30(6):1125-1128 (2006年8月)	Lithium and dementia: A preliminary study	Terao, T.	神経・精神科
臨精医 35(8):1047-1051 (2006年8月)	病休・退職者の動向とうつ病	小嶋 秀幹	神経・精神科

10件

160件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日精協誌 25(8):19-24 (2006年8月)	企業におけるメンタルヘルス活動と精神科医療	中村 純	神経・精神科
Neuromolecular Med 8(3):375-380 (2006年9月)	No association between a functional NAD(P)H : Quinone oxidoreductase gene polymorphism (Pro187Ser) and tardive dyskinesia	Hori, H.	神経・精神科
NeuroMolecular Med 8(3):381-388 (2006年9月)	Association study between functional polymorphisms in the cytochrome P450 1A2 and 2D6 genes and polydipsia in schizophrenia	Shinkai, T.	神経・精神科
最新精神医 11(5):427-432 (2006年9月)	うつ病の不眠の診断と治療	吉村 玲児	神経・精神科
Med Pract 23(9):1581-1586 (2006年9月)	精神疾患	中村 純	神経・精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 30(7):1359-1363 (2006年9月)	Plasma levels of brain derived-neurotrophic factor and catecholamine metabolites are increased during active phase of psychotic symptoms in CNS lupus: A case report	Ikenouchi, A.	神経・精神科
Psychopharmacology 187(4):526-527 (2006年9月)	Effects of repeated milnacipran administration on brain serotonergic and noradrenergic functions in healthy volunteers	Soya, A.	神経・精神科
臨精医 35(9):1189-1193 (2006年9月)	修正型 ECT が著効した精神病性うつ病の 1 例 brain-derived neurotrophic factor (BDNF) とカテコールアミン代謝産物の血中濃度動態からの検討	吉村 玲児	神経・精神科
臨薬理 37(5):279-282 (2006年9月)	今後わが国に導入予定の抗うつ薬	吉村 玲児	神経・精神科
精神誌 108(9):997-1003 (2006年9月)	症状精神病	中村 純	神経・精神科

10件

170件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
産業精保健 14(3):167-171 (2006年9月)	管理監督者自身の精神健康度とメンタルヘルス教育に対する重要性の認識	副田 秀二	神経・精神科
精神 9(4):355-359 (2006年10月)	前頭側頭型認知症に重畳したせん妄状態に対し高用量クエチアピン投与が有効であった1例	後藤 牧子	神経・精神科
Hum Psychopharmacol 21(7):433-438 (2006年10月)	Effect of risperidone on plasma catecholamine metabolites and brain-derived neurotrophic factor in patients with bipolar disorders	Yoshimura, R.	神経・精神科
Am J Med Genet 141B(7):789-789 (2006年10月)	No association between the hOGG1 gene polymorphism (Ser326Cys) and tardive dyskinesia	Sakata, S.	神経・精神科
Am J Med Genet 141B(7):790-790 (2006年10月)	A possible interaction of OX1R DRD2 gene on susceptibility to polydipsia in schizophrenia	Shinkai, T.	神経・精神科
Am J Med Genet 141B(7):790-791 (2006年10月)	No association between the dopamine D3 receptor (DRD3) gene polymorphism (Ser9Gly) and tardive dyskinesia	Utsunomiya, K.	神経・精神科
Am J Med Genet 141B(7):791-791 (2006年10月)	No association between a functional polymorphism in the human multidrug-resistance gene (MDR1) and tardive dyskinesia	Shinkai, T.	神経・精神科
Am J Med Genet 141B(7):803-803 (2006年10月)	No association between the brain-derived neurotrophic factor (BDNF) gene polymorphism (Val66Met) and tardive dyskinesia	Shinkai, T.	神経・精神科
Am J Med Genet 141B(7):804-804 (2006年10月)	Association study between the NMDA receptor subunit 2B gene (GRIN2B) and schizophrenia	Hori, H.	神経・精神科
日精協誌 26(11):9-12 (2006年11月)	精神科における全般性不安障害	小嶋 秀幹	神経・精神科

10件

180件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pharmacopsychiatry 39(6):233-234 (2006年11月)	Two cases of bipolar disorder successfully stabilized for five years with a low dose of risperidone and lithium	Yoshimura, R.	神経・精神科
臨精薬理 9(12):2471-2475 (2006年12月)	Paroxetineにlithiumを追加投与することにより寛解に至った妄想性うつ病の1例 血中BDNF動態および血中カテコールアミン代謝産物動態からの検討	辻 尚志郎	神経・精神科
Psychiatry Clin Neurisci 60(6):778-779 (2006年12月)	Prescription pattern of antipsychotic drugs for schizophrenic inpatients in Japan Research on East Asia Psychotropic Prescription Pattern-Antipsychotics study	Yoshimura, R.	神経・精神科
日アルコール精医誌 13(2):27-31 (2006年12月)	女性とアルコール依存症	太田 牧子	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A1 (2006年12月)	Effects of olanzapine on plasma levels of monoamine metabolites and brain-derived neurotrophic factor in schizophrenic patients	Hori, H.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A4-A5 (2006年12月)	Genetic association analysis between a functional NAD(P)H:quinone oxidoreductase (NQO1) gene polymorphism (Pro187Ser) and tardive Dyskinesia	Hori, H.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A5-A6 (2006年12月)	Two cases of bipolar disorder successfully stabilized for a long period with a low dose of risperidone and lithium, including longitudinal assessment of plasma catecholamine metabolites	Shinkai, T.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A6 (2006年12月)	Efficacy of risperidone treatment for bipolar disorder	Nakano, Y.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A7 (2006年12月)	Premenstrual dysphoric disorder and serotonergic function: findings from neuroendocrine challenge tests	Inoue, Y.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A8 (2006年12月)	A comparative study of milnacipran and paroxetine with regard to social adaptation in major depression	Ueda, N.	神経・精神科

10件

190件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A14 (2006年12月)	Three cases of obsessive-compulsive disorder successfully treated with a low-dose risperidone addition to fluvoxamine	Yoshimura, R.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A19 (2006年12月)	No effects of valproic acid on plasma risperidone levels in steady-state conditions	Yoshimura, R.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A20 (2006年12月)	Two patients with treatment-resistant schizophrenia who markedly responded to clozapine	Kojima, H.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A24 - A24 (2006年12月)	Association between genetic polymorphisms in the renin-angiotensin system and polydipsia in schizophrenia	Shinkai, T.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A29 (2006年12月)	Effects of subchronic milnacipran administration on brain 5-hydroxytryptamine function in healthy male volunteers	Soya, A.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A30 - A31 (2006年12月)	Plasma levels of brain derived-neurotrophic factor and catecholamine metabolites are increased during the active phase of psychotic symptoms in central nervous system lupus	Yoshimura, R.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A32 (2006年12月)	Association study between the brain-derived neurotrophic factor gene polymorphism (Val66Met) and schizophrenia	Shinkai, T.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 21(4):A33 (2006年12月)	Association between plasma 3-methoxy-4-hydroxy-phenylethylene glycol levels and serum brain-derived neurotrophic factor levels in healthy workers	Mitoma, M.	神経・精神科
Pharmacopsychiatry 40(1):9-13 (2007年1月)	Valproic acid improves psychotic agitation without influencing plasma risperidone levels in schizophrenic patients	Yoshimura, R.	神経・精神科
臨精薬理 10(1):43-49 (2007年1月)	第二世代抗精神病薬導入による精神医療の変化 変化大学病院	後藤 直樹	神経・精神科

10件

200件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
カレントセラピー 25(1):59-62 (2007年1月)	睡眠薬の薬理学 ベンゾジアゼピン受容体作動薬を中心に	吉村 玲児	神経・精神科
精神科治療 22(1):7-12 (2007年1月)	職場におけるストレスの評価と精神疾患の理解	中村 純	神経・精神科
精神 10(1):32-34 (2007年1月)	抗精神病薬によるQT延長症候群	堀 広子	神経・精神科
精神 10(1):90-94 (2007年1月)	夫婦関係に課題があった遷延したうつ病の1例	堀 広子	神経・精神科
総病精医 19(1):29-34 (2007年1月)	職域における自殺予防対策 大規模事業所における管理監督者教育での試み	小嶋 秀幹	神経・精神科
J Occupat Health 49(1):1-8 (2007年1月)	The usefulness of sleep apnea syndrome screening using a portable pulse oximeter in the workplace	Hori, H.	神経・精神科
Psychiatry Today (12):13-14 (2007年1月)	高齢認知症患者に対する非定型抗精神病薬の使用	堀 広子	神経・精神科
Mebio 24(2):84-90 (2007年2月)	産業精神保健におけるうつ病	中野 英樹	神経・精神科
Psychopharmacology 190(2):213 - 219 (2007年2月)	Fluctuating serotonergic function in premenstrual dysphoric disorder and premenstrual syndrome: findings from neuroendocrine challenge tests	Inoue, Y.	神経・精神科
薬局 58(3):104-108 (2007年3月)	うつ病患者の不眠症にはベンゾジアゼピン系抗不安薬・睡眠導入薬の使用が一般的であるか？	後藤 直樹	神経・精神科

10件

210件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
産業医大誌 29 (1) : 109-109 (2007 年 3 月)	うつ状態患者での血中 brain-driven neurotrophic factor (BDNF) 動態の検討	吉村 玲児	神経・精神科
Neurosci Lett 415(2) : 108 - 112 (2007 年 3 月)	No association between the brain-derived neurotrophic factor (BDNF) Val66Met polymorphism and schizophrenia in Asian populations Evidence from a case-control study and meta-analysis	Shinkai, T.	神経・精神科
Naunyn-Schmiedeberg's Arch.Pharmacol 375(1) : 65-72 (2007 年 3 月)	Stimulation of catecholamine synthesis via activation of p44/42 MAPK in cultured bovine adrenal medullary cells by milnacipran	Shinkai, Koji	神経・精神科
Bon Marrow transplant 37(8) : 807-808 (2006 年 4 月)	Unrelated bone marrow transplantation using a reduced intensity-conditioning regimen in leukocyte adhesion deficiency	Takahashi, D	小児科
日エイズ会誌 8 (2) : 67-77 (2006 年 5 月)	薬害エイズ問題から見えてくるもの：医療安全の視点からの検証と教訓	白幡 聡	小児科
日小児血液会誌 20 (3) : 175 - 179 (2006 年 6 月)	急性リンパ性白血病に合併した侵襲性アスペルギルス症に対し micafungin, amphotericin B, itraconazole, granulocyte colony-stimulating factor の併用が有効であった 1 例	宮地 良介	小児科
日本小児血液会誌 20(3) : 175 - 179 (2006 年 6 月)	治療中に白血病に移行した Klinefelter 症候群合併 anaplastic large cell lymphoma の 1 例	宮地 良介	小児科
日血栓止血会誌 17(3) : 245 - 253 (2006 年 6 月)	新生児の DIC	白幡 聡	小児科
Surg Today 36(6) : 563-565 (2006 年 6 月)	Intramural hematoma of the cecum as the lead point of intussusception in an elderly patient with hemophilia A: report of a case	Sakai, M	小児科
日血栓止血会誌 17:331 - 344 (2006 年 6 月)	インヒビター保有血友病患者における遺伝子組替え活性型血液凝固第Ⅷ因子製剤（注射用ノボセブン）の長期的安全および有効性	白幡 聡	小児科

10件

220件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol 84 (2) :158 - 165 (2006年8月)	Clinical evaluation of recombinant factor VIII preparation (Kogenate) in previously treated patients with hemophilia A	白幡 聡	小児科
日血栓止血会誌 17 (4) : 446-453 (2006年8月)	日本の血友病類縁疾患患者の入院医療コストの集計	酒井 道生	小児科
Am J Physiol Renal Physiol 291(4) :866 - 873 (2006年10月)	Endothelin and nitric oxide mediate adaptation of the cortical collecting duct to metabolic acidosis	Watanabe, S.	小児科
Life Science 79 (25):2405 - 2412 (2006年11月)	N-acetylcysteine attenuates TNF-alpha induced changes in secretion of interleukin-6, plasminogen activator inhibitor-1 and adiponectin from 3T3-L1 adipocytes.	土橋 一重	小児科
Bone Marrow Transplant 38 :635 - 636 (2006年11月)	Unrelated bone marrow transplantation using a reduced-intensity conditioning regimen for the treatment of Kostmann syndrome	高橋 大二郎	小児科
日小児栄養消肝会誌 20(2) :75 - 79 (2006年12月)	ストレプトゾトシン糖尿病ラットのアディポネクチンレベル (第2報)	土橋 一重	小児科
日血栓止血会誌 17(6) :682 - 694 (2006年12月)	過去に治療歴のない血友病A患者に対する血漿由来血液凝固第Ⅷ因子製剤(クロスエイトM)の安全性と有効性の臨床評価	白幡 聡	小児科
J Clin Endocrinol Metab 91(12) :5113-5116 (2006年12月)	High molecular weight, rather than total, adiponectin levels better reflect metabolic abnormalities associated with childhood obesity.	Dobashi, K	小児科
日本小児救急医学誌 5 (2) : 146-148 (2006年12月)	小児患者の航空機搬送:第一部 搬送時の生理学的変化	下野 昌幸	小児科
日本小児救急医学誌 5 (2) : 149-152 (2006年12月)	小児患者の航空機搬送:第二部 航空機搬送の方法論	下野 昌幸	小児科

10件

230件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
肥満研究 13(1):29-33 (2007年1月)	肥満小児における1日歩数と代謝異常との関連性	荒木 俊介	小児科
日未熟児新生児会誌 19(1):65-69 (2007年2月)	未熟児・新生児に対する輸血の指標としての静脈血乳酸値	高橋 大二郎	小児科
救急医学 30(4):489-494 (2006年4月)	急性期 DIC 診断基準 国際血栓止血学会 (ISTH) overt DIC 診断基準との比較	岡本 好司	消化器・内分泌外科
救急医学 30(5):607-609 (2006年5月)	急性期 DIC 診断基準 分子マーカー	岡本 好司	消化器・内分泌外科
Surg Today 36(6):563-565 (2006年6月)	Intramural hematoma of the cecum as the lead point of intussusception in an elderly patient with hemophilia A: report of a case	Nakayama, Y.	消化器・内分泌外科
Surg Fronti 13(2):214-221 (2006年6月)	外科領域における DIC とプロテアーゼインヒビター	岡本 好司	消化器・内分泌外科
日血栓止血会誌 17(3):294-297 (2006年6月)	EBM に基づく DIC ガイドライン作成に向けての調査研究 基礎疾患に対する治療	岡本 好司	消化器・内分泌外科
手術 60(7):993-998 (2006年6月)	術後癒着性イレウス症例における腹腔鏡下イレウス解除術	永田 直幹	消化器・内分泌外科
Gastric Cancer 9(2):114-119 (2006年6月)	A feasibility study of sequential paclitaxel and S-1 (PTX/S-1) chemotherapy as postoperative adjuvant chemotherapy for advanced gastric cancer	Nagata, N.	消化器・内分泌外科
侵襲と免疫 15(2):90-97 (2006年7月)	DIC に併発する多臓器不全の治療	岡本 好司	消化器・内分泌外科

10件

240件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
救急医学 30(7):855-859 (2006年7月)	急性期DIC診断基準 救急領域DIC診断基準(案)の改訂と急性期DIC診断基準	岡本 好司	消化器・内分泌外科
日臨外会誌 67(8):1950-1953 (2006年8月)	Bard Composix Kugel Hernia Patchを用いた白線ヘルニアの1例	永田 直幹	消化器・内分泌外科
救急医学 30(8):989-993 (2006年8月)	急性期DIC診断基準 急性期DIC診断基準の解説	岡本 好司	消化器・内分泌外科
救急医学 30(9):1051-1056 (2006年9月)	組織因子とトロンビン	岡本 好司	消化器・内分泌外科
Anticancer Res 26(5B):3983-3988 (2006年10月)	Correlation between the urinary dihydrouracil-uracil ratio and the 5-FU plasma concentration in patients treated with oral 5-FU analogs	Nakayama, Y.	消化器・内分泌外科
救急医学 30(11):1574-1575 (2006年10月)	急性期DIC診断基準 日本救急医学会による急性期DIC診断基準作成にあたって	岡本 好司	消化器・内分泌外科
感染防止 16(7):5-14 (2006年11月)	手術部位感染(SSI)に対する病態・治療と感染対策	永田 直幹	消化器・内分泌外科
手術 60(12):1827-1832 (2006年11月)	胆嚢癌を合併した急性胆嚢炎に対する手術	岡本 好司	消化器・内分泌外科
日外科連合会誌 32(1):55-59 (2007年1月)	同時性卵巣転移を来した大腸癌の1例	森田 圭介	消化器・内分泌外科
Anticancer Res 27(1B):619-625 (2007年2月)	Significance of lymphangiogenesis as assessed by immunohistochemistry for podoplanin in patients with esophageal carcinoma	Nakayama, Y	消化器・内分泌外科

10件

250件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastric cancer 10(1):52-57 (2007年2月)	Pharmacokinetic study of weekly administration dose of paclitaxel in patients with advanced or recurrent gastric cancer in Japan	Kobayashi, M	消化器・内分泌外科
Dis Colon Rectum 50(3):308-314 (2007年3月)	Lymphatic microvessel density is an independent prognostic factor in colorectal cancer	Matsumoto, k	消化器・内分泌外科
治療学 41(3):253-256 (2007年3月)	病態別にみたDICの診断と治療 固形腫瘍	岡本 好司	消化器・内分泌外科
Int J Cancer 118(8):1992-1997 (2006年4月)	A point mutation in the NFYC gene generates an antigenic peptide recognized by autologous cytolytic T lymphocytes on a human squamous cell lung carcinoma	Takenoyama, M.	呼吸器・胸部外科
Cancer 106(10):2190-2199 (2006年5月)	The methylation status and protein expression of CDH1, p16(INK4A), and fragile histidine triad in nonsmall cell lung carcinoma: epigenetic silencing, clinical features, and prognostic significance	Nakata, S.	呼吸器・胸部外科
Cancer Res 66(9):4922-4928 (2006年5月)	Identification of a new cancer/germline gene, KK-LC-1, encoding an antigen recognized by autologous CTL induced on human lung adenocarcinoma	Hanagiri, T.	呼吸器・胸部外科
Anticancer Res 26(3):1827 - 1832 (2006年5月)	Effect of IgG produced by tumor-infiltrating B lymphocytes on lung tumor growth	Mizukami, M.	呼吸器・胸部外科
Anticancer Res 26(3):2243 - 2248 (2006年5月)	Expression of FHIT in esophageal epithelium and carcinoma: Reference to drinking, smoking and multicentric carcinogenesis	Nakata, S.	呼吸器・胸部外科
Jpn J Thorac Cardiovasc Surg 54(6):242 - 245 (2006年6月)	Leiomyoma originating from the extrapleural tissue of the chest wall	Nose, N.	呼吸器・胸部外科
Pathol Res Pract 202(9):639 - 650 (2006年7月)	Immunohistochemical alpha- and beta-catenin and E-cadherin expression and their clinicopathological significance in human lung adenocarcinoma	Sugio, K.	呼吸器・胸部外科

10件

260件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Surg Oncol 94(2):132 - 137 (2006年8月)	Increase in both CEA and CA19-9 in sera is an independent prognostic indicator in colorectal carcinoma	Nozoe, T.	呼吸器・胸部外科
Anticancer Res 25(5):3607 - 3612 (2006年9月)	Antigens recognized by IgG derived from tumor-infiltrating B lymphocytes in human lung cancer	Yasuda, M.	呼吸器・胸部外科
Front Biosci 11:2590 - 2597 (2006年9月)	Smoking cessation program and CYP2A6 polymorphism	Uramoto, H.	呼吸器・胸部外科
J Thorac Oncol 1(8):825 - 831 (2006年10月)	Clinical characterization of node-negative lung adenocarcinoma: results of a prospective investigation	Sugio, K.	呼吸器・胸部外科
Int J Clin Oncol 11(6):487 - 491 (2006年12月)	Resistance to gefitinib	Uramoto, H.	呼吸器・胸部外科
日呼外会誌 21(1):17-22 (2007年1月)	内視鏡下胸腺摘出術に関する全国調査 —日本胸腺研究会アンケート調査報告—	安元 公正	呼吸器・胸部外科
Cancer Immunol Immunother 56(2):259 - 269 (2007年2月)	Lack of tumor recognition by cytolytic T lymphocyte clones recognizing peptide 195-203 encoded by gene MAGE-A3 and presented by HLA-A24 molecules	Hanagiri, T.	呼吸器・胸部外科
Int J Cancer 120(5):1055 - 1062 (2007年3月)	Identification of HLA-A24 restricted shared antigen recognized by autologous cytotoxic T lymphocytes from a patient with large cell carcinoma of the lung	Sugaya, M.	呼吸器・胸部外科
J UOEH 29(1):87 - 90 (2007年3月)	Consultation for employees about cancer: the role of industrial physicians	Uramoto, H.	呼吸器・胸部外科
Journal of Neurosurgery 104(4):574-582 (2006年4月)	Induction of macrophagic prostaglandin E2 synthesis by glioma cells	Nakano, Y.	脳神経外科学

10件

270件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Neurosurgery (Suppl Pediatrics) 104(5):332 - 339 (2006年5月)	Neuronal damage in hydrocephalus and its restoration by shunt insertion in experimental hydrocephalus: a study involving the neurofilament -immunostaining method	青山 雄一	脳神経外科学
日本臨床 64(8):628-632 (2006年11月)	インターベンション時代の脳卒中学くも膜 下出血と脳動脈瘤	西澤 茂	脳神経外科学
季刊 腎と骨代謝 19(2):129-134 (2006年4月)	ステロイドの骨構造に対する影響	酒井 昭典	整形外科
日本整形外科学会雑誌 80(4):384-384 (2006年4月)	経皮的脊椎針生検の診断精度	成澤 研一郎	整形外科
日本整形外科学会雑誌 80(4):391-391 (2006年4月)	肥満者の腰痛症に対する生活習慣指導は腰痛と QOL を改善した ヱランダム化比較試験による介入調査	中村 英一郎	整形外科
日本整形外科学会雑誌 80(4):483-483 (2006年4月)	人工膝関節置換術におけるアイシングの効果	沖本 信和	整形外科
産婦人科治療 92(4):369-374 (2006年4月)	骨粗鬆症の診断基準	中村 利孝	整形外科
整形・災害外科 49(5):463-470 (2006年4月)	舟状骨骨折の保存療法と ORIF	酒井 昭典	整形外科
月刊 臨床と研究 83(4):493-496 (2006年4月)	現代社会と腰痛・肩こり・膝関節痛	中村 利孝	整形外科
Osteoporosis Japan 14(2):183 - 192 (2006年4月)	骨粗鬆症治療に関する調査 〜ビスホスホネート週1回製剤の処方可能性調査〜	中村 利孝	整形外科

10件

280件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Osteoporosis Japan 14(2):65 - 69 (2006年4月)	新規骨代謝マーカーを用いた塩酸ラロキシフェンの閉経後骨粗鬆症に対する効果判定の検討(中間報告)	中村 利孝	整形外科
Journal of Bone and Mineral Metabolism 24 :405 - 413 (2006年5月)	Efficacy and tolerability of once-weekly administration of 17.5mg risedronate in Japanese patients with involutional Osteoporosis;a comparison with 2.5-mg once-daily dosage regimen.	Nakamura, T.	整形外科
SERM 2006 (1):92-97 (2006年5月)	EBM ラロキシフェンの骨折防止効果 国内および中国での臨床試験の結果から	中村 利孝	整形外科
日本臨床 別冊 :77-80 (2006年6月)	内分泌症候群(第2版)その他の内分泌疾患を含めて副甲状腺・骨・ミネラル代謝 代謝性骨疾患 骨粗鬆症疾患と分類についての最近の考え方	中村 利孝	整形外科
整形・災害外科 49(8):927-936 (2006年7月)	大腿骨転子部骨折の整復法 ～回旋位に注目して～	鈴木 聖裕	整形外科
BONE 39(1):83- 92 (2006年7月)	Cyclooxygenase-2 selective inhibition suppresses restoration of tibial trabecular bone formation in association with restriction of osteoblast maturation in skeletal reloading after hindlimb elevation of mice.	Tanaka, S.	整形外科
THE BONE 20(4):101 - 105 (2006年7月)	予防効果からみた骨粗鬆症治療薬の選択方法	中村 利孝	整形外科
内分泌・糖尿病科 23(3):47-54 (2006年8月)	第2章 骨代謝の基礎 骨組織の発生、成長、形態維持	中村 利孝	整形外科
日本臨床 64(9):1573-1577 (2006年9月)	高齢者骨疾患総論	中村 利孝	整形外科
整形外科と災害外科 55(4):448-450 (2006年9月)	透析患者の下肢切断の治療成績の検討	鈴木 聖裕	整形外科

10件

290件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Developmental Dynamics 235(9):2603-2612 (2006年9月)	Kinetics of tamoxifen-regulated Cre activity in mice using a cartilage-specific Cre ER(T) to assay temporal activity windows along the proximodistal limb keleton.	Nakamura, E.	整形外科
骨粗鬆症治療 5(4):325-327 (2006年9月)	最新用語解説 臨床 Non-responder	中村 利孝	整形外科
整形・災害外科 49(11):1289-1295 (2006年10月)	骨 Paget 病	成澤 研一郎	整形外科
Hip Joint 32 :126 - 130 (2006年10月)	大腿骨頭壊死に対する骨切り術の成績 〜適応と成績不良因子〜	大西 英生	整形外科
Osteoporosis Japan 14(4):45 - 48 (2006年10月)	日本骨粗鬆症学会 第6回旭化成学術振興 賞受賞にあたってこの1年間の骨粗鬆症研 究の概要と今後の方向性	中村 利孝	整形外科
整形・災害外科 49(11):1289 - 1302 (2006年10月)	黄色靭帯骨化症を発生した低リン血症性く る病	松本 康二郎	整形外科
Osteoporosis International 17(10):1532 - 1538 (2006年10月)	Daily nasal spray of hPTH(1-34) for 3 months increases bone mass in osteoporotic subjects:a pilof study	Matsumoto, T.	整形外科
整形外科と災害外科 55(2):120-120 (2006年10月)	橈骨遠位端骨折に対する掌側 locking plate 固定の治療成績尺骨茎状突起骨折と 臨床症状の関連について	善家 雄吉	整形外科
レジデントノート 8(8):1147-1149 (2006年11月)	よく使う日常治療薬の正しい使い方骨粗鬆 症	中村 利孝	整形外科
整形・災害外科 49(12):1371-1376 (2006年11月)	リン代謝と骨ミネラル化の調節	田中 伸哉	整形外科

10件

300件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
THE BONE 20(6):815-819 (2006年11月)	骨粗鬆症とビタミンD	中村 利孝	整形外科
Clinical Calcium 16(12):1961-1967 (2006年11月)	大腿骨頸部骨折の危険因子と予防薬物療法による骨折予防	中村 利孝	整形外科
日本脊椎脊髄病学会雑誌 17(2):663-676 (2006年12月)	骨粗鬆症性脊椎骨折	中村 利孝	整形外科
クリニシアン 53(11):1032-1036 (2006年12月)	骨粗鬆症治療薬の歴史と将来展望 骨質改善への期待	中村 利孝	整形外科
Clinical Calcium 17(1):80-87 (2006年12月)	骨カルシウム代謝異常症の新規治療薬 ストロンチウム ラネル酸ストロンチウム による骨粗鬆症性骨折の防止効果 について	中村 利孝	整形外科
骨粗鬆症治療 6(1):15-19 (2007年1月)	骨質と骨のリモデリング	中村 利孝	整形外科
THE BONE 21(1):67-71 (2007年1月)	特集 「骨質」 ⑤骨リモデリング	中村 利孝	整形外科
Arteriosclerosis Thrombosis and Vascular Biology 27(1):92-98 (2007年1月)	Statin treatment upregulates vascular neuronal nitric oxide synthase through Akt/NF-kappa B path way.	Sabanai, K.	整形外科
Spine32 (1):25-29 (2007年1月)	Q89R polymorphism in the LDL receptor-related protein 5 gene is associated with spinal osteoarthritis in postmenopausal Japanese women	Narusawa, K.	整形外科
Journal of Orthopaedic Science 12:308-310 (2007年1月)	Bilateral acetabular fractures secondary to a seizure attack caused by antibiotic medicine.	Ohnishi, H.	整形外科

10件

310件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
整形外科 58(2):244-245 (2007年2月)	学会を聞く「第8回日本骨粗鬆症学会」	酒井 昭典	整形外科
BONE 40(2):451-456 (2007年2月)	A functional single nucleotide polymorphism in the vitamin-K-dependent gamma-glutamyl carboxylase gene(Arg 325 Gln) is associated with bone mineral density in elderly Japanese women.	Narusawa, K.	整形外科
BONE 40(6):1494-1501 (2007年2月)	Flt-1 tyrosine kinase-deficient homozygous mice result in decreased trabecular bone volume with reduced osteogenic potential.	Sakai, A.	整形外科
日本脊椎脊髄病学会雑誌 17(2):663-676 (2007年3月)	総説 骨粗鬆症脊椎骨折	成澤 研一郎	整形外科
THE BONE 21(2):217-219 (2007年3月)	特集 脆弱性骨折をめぐる諸問題 椎体骨折④骨折(1)薬物	酒井 昭典	整形外科
THE BONE 21(2):233-234 (2007年3月)	特集 脆弱性骨折をめぐる諸問題 非椎体骨折④治療(1)薬物	酒井 昭典	整形外科
日本病院薬剤師会雑誌 43(3):413-416 (2007年3月)	アレンドロン酸ナトリウム週1回製剤	中村 利孝	整形外科
日本脊椎脊髄病学会雑誌 18(1):46-46 (2007年3月)	高齢日本人女性の胸腰椎側彎に関連する要因の横断研究	成澤 研一郎	整形外科
日本脊椎脊髄病学会雑誌 18(1):209-209 (2007年3月)	腰椎変性すべり症における不安定性の違いによる術式決定方法の検証	清水 建詞	整形外科
日本脊椎脊髄病学会雑誌 18(2):290-290 (2007年3月)	大規模疫学調査：大腰筋面積、傍脊柱筋面積、内臓脂肪面積と腰痛有訴率との関連について	中村 英一郎	整形外科

10件

320件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本整形外科学会雑誌 81(3):198-198 (2007年3月)	橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定の治療成績～尺骨茎状突起骨折に内固定は必要か?～	善家 雄吉	整形外科
胸部外科 59(9):813-816 (2006年8月)	術中 malperfusion に対し上行大動脈真腔内送血にて対処しえた大動脈解離	西村 陽介	心臓血管外科
アレルギー科 21(4):341-346 (2006年4月)	抗ヒスタミン薬の抗アレルギー作用とその機序—皮膚炎における意義を中心に—	戸倉 新樹	皮膚科
皮膚臨床 48(4):491-494 (2006年4月)	Double V-Y advancement flap により再建した下口唇の有棘細胞癌の1例	磯田 英華	皮膚科
J Dermatol Sci 42:91-99 (2006年5月)	Nadifloxacin downmodulates antigen-presenting functions of epidermal Langerhans cells and keratinocytes	Murata, K.	皮膚科
臨皮 60(5):56-60 (2006年5月)	ケモカインからみたリンパ腫	島内 隆寿	皮膚科
Photomed Photobiol 27:11-12 (2006年6月)	Augmented expression of MHC class II and co-stimulatory molecules on langerhans cells phototreated with ketoprofen	Shimauchi, T.	皮膚科
Derma. 114:1-6 (2006年6月)	トキシックショック症候群とトキシックショック様症候群	西尾 大介	皮膚科
Derma. 114:66-69 (2006年6月)	日和見真菌感染症	小林 美和	皮膚科
Derma. 114:103-108 (2006年6月)	蠅蛆病	古賀 千律子	皮膚科

10件

330件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Am Acad Dermatol 54(6):1109 - 1111 (2006年6月)	CXCR3 and CCR4 double positive tumor cells in granulomatous mycosis fungoides	Shimauchi, T.	皮膚科
Arch Dermatol 142(6):792 - 793 (2006年6月)	Papuloerythroderma caused by aspirin	Sugita, K.	皮膚科
Clin Exp Dermatol 31 :709 - 710 (2006年6月)	Eosinophilic pustular folliculitis successfully treated with sequential therapy of interferon- γ and ciclosporin	Sugita, K.	皮膚科
J Dermatol 33(7):498 - 500 (2006年7月)	Folliculotropic mycosis fungoides presenting as papuloerythroderma	Shimauchi, T.	皮膚科
臨床とウイルス 34(3):145- 151 (2006年7月)	EBウイルス関連皮膚疾患	戸倉 新樹	皮膚科
臨床 60(8):701- 703 (2006年7月)	Atypical fibroxanthoma との鑑別を要した有棘細胞癌	杉田 和成	皮膚科
西日皮 68(4):422-425 (2006年8月)	ミソリビンとプレドニゾン併用療法が有効であった自己免疫性水疱症の5例	杉田 和成	皮膚科
臨と研 83(8):1187-1190 (2006年8月)	薬剤性光線過敏症	戸倉 新樹	皮膚科
Int J Dermatol 45 :1123 -1123 (2006年8月)	Erythema multiforme-like drug eruption caused by sennoside	Sugita, K.	皮膚科
皮膚診療 28(10):1197-1200 (2006年10月)	面皰母斑 —Blaschko line に沿って生じた症例—	戸倉 新樹	皮膚科

10件

340件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
皮膚臨床 48(10):1303-1307 (2006年10月)	10) 可溶性 IL-2 受容体 (sIL-2R)	島内 隆寿	皮膚科
皮膚臨床 48(10):1315- 1321 (2006年10月)	12) T/B細胞分画・リンパ球サブセット 検査	戸倉 新樹	皮膚科
皮膚診療 2006 増刊号 28 :38 - 42 (2006年10月)	産業医と皮膚科	戸倉 新樹	皮膚科
J Infect Chemother 12(2):97-99 (2006年4月)	Single dose of cefodizime completely eradicated multidrug-resistant strain of Neisseria gonorrhoeae in urethritis and uterine cervicitis.	Matsumoto, T.	泌尿器科学
International Journal of Antimicrobial Agents 27(6):491 - 499 (2006年6月)	Emergence and prevalence of β -lactamase-producing Klebsiella pneumoniae resistant to cepheims in Japan.	Matsumoto, T.	泌尿器科学
J. Infect. Chemother. 12(3):145 - 147 (2006年6月)	Multiple doses of cefodizime are necessary for the treatment of Neisseria gonorrhoeae pharyngeal infection	Matsumoto, T.	泌尿器科学
西日本泌尿器科 68(7):320- 328 (2006年7月)	九州沖縄地区における根治的前立腺摘除術 と術後補助療法および PSA failure に関する アンケート調査	藤本 直浩	泌尿器科学
西日本泌尿器科 68(9):416- 422 (2006年9月)	有熱性尿路感染症を認めた内科入院患者に おける排尿管理方法及び尿中分離菌の薬剤 感受性の比較	松本 哲郎	泌尿器科学
西日本泌尿器科 68(12):581-585 (2006年12月)	鉄鋼業における暑熱職場での尿路結石の危 険因子に関する検討	藤本 直浩	泌尿器科学
Arch Ophthalmol 124(4):514 - 519 (2006年4月)	Staining ability and biocompatibility of brilliant blue G: preclinical study of brilliant blue G as an adjunct for capsular staining	Kubota, T.	眼科学

10件

350件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Glaucoma 15(2):117 - 119 (2006年4月)	Ultrastructure of the trabecular meshwork in secondary glaucoma eyes after intravitreal triamcinolone acetonide	Kubota, T.	眼科学
臨眼 60(4):607- 614 (2006年4月)	ステロイドパルス療法と放射線療法の併用療法が奏効した甲状腺眼症の3例	田原 昭彦	眼科学
日眼会誌 110(5):415- 420 (2006年5月)	眼トキソカラ症による胞状網膜剥離の1例	藤 紀彦	眼科学
臨眼 60(5):703- 706 (2006年5月)	眼脂培養からの同定菌のフルオロキノロンに対する耐性の比較検討	藤 紀彦	眼科学
あたらしい眼科 23(6):829- 834 (2006年6月)	アスタキサンチンの眼疲労に対する有用性	田原 昭彦	眼科学
あたらしい眼科 23(6):817- 820 (2006年6月)	数年間著明な眼圧季節変動を示した太田母斑に併発した発達緑内障の1例	久保田 敏昭	眼科学
臨眼 60(7):1157- 1162 (2006年7月)	網膜下増殖組織を伴った punctate inner choroidopathy の1例	久保田 敏昭	眼科学
Retina 26(6):623 - 630 (2006年8月)	Preclinical investigation of internal limiting membrane staining and peeling using intravitreal brilliant blue G	Kubota, T.	眼科学
Retina 26(6):631 - 636 (2006年8月)	Brilliant blue G selectively stains the internal limiting membrane/brilliant blue G-assisted membrane peeling	Kubota, T.	眼科学
J Glaucoma 15(5):354 - 357 (2006年10月)	Effect of latanoprost on the diurnal variations in the intraocular and ocular perfusion pressure in normal tension glaucoma	Tawara, A.	眼科学

10件

360件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
眼科手術 19(4):510-511 (2006年10月)	眼科のクリニカルパス	久保田 敏昭	眼科学
医事新報 '06(4314):53-59 (2006年12月)	高齢者の視力障害	久保田 敏昭	眼科学
Mol Vis 12:1558-1564 (2006年12月)	Novel triple missense mutations of GUCY2D gene in Japanese family with cone-rod dystrophy: Possible use of genotyping microarray	Kubota, T.	眼科学
あたらしい眼科 24(1):125-130 (2007年1月)	三次元ディスプレイを用いた輻湊性調節対輻湊(CA/C)比の測定	田原 昭彦	眼科学
Ophthalmology 114(2):289-296 (2007年2月)	Reduced incidence of intraoperative complications in a multicenter controlled clinical trial of triamcinolone in vitrectomy	Kubota, T.	眼科学
臨眼 61(3):451-455 (2007年3月)	冷凍保存羊膜移植を併用した線維柱帯切除術	新田 憲和	眼科学
耳鼻・頭頸外科 78(5):268-268 (2006年4月)	Sweet disease (スイート病)	鈴木 秀明	耳鼻咽喉科
耳鼻・頭頸外科 78(5):269-269 (2006年4月)	syndrome of superior cerebellar artery (上小脳動脈 syndrome)	上田 成久	耳鼻咽喉科
耳鼻・頭頸外科 78(5):270-270 (2006年4月)	systemic inflammatory response syndrome (SIRS) (全身性炎症反応 syndrome)	上田 成久	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol 126(6):653-656 (2006年6月)	Hyalinizing clear cell carcinoma Arising from the base of the tongue	Suzuki, H.	耳鼻咽喉科

10件

370件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
口咽科 18(3):349 - 356 (2006年6月)	精度の高いOSAS一次スクリーニング手法作成に関する検討	北村 拓朗	耳鼻咽喉科
Acta Oto-Laryngologica 126(7):739 - 745 (2006年7月)	Functional inferior turbinosurgery(FITS) for the treatment of resistant chronic rhinitis	Suzuki, H.	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 99(7):591- 594 (2006年7月)	迷走神経咽頭枝由来と疑われた頸部神経鞘腫例	加藤 明子	耳鼻咽喉科
JOHNS 22(9):1249 - 1254 (2006年9月)	顔面骨骨折	上田 成久	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 99(10):845- 849 (2006年10月)	内反性乳頭腫を合併した鼻腔原発症状癌例	塩盛 輝夫	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸 78(12):965- 968 (2006年11月)	頸部脂肪肉腫の1例	大淵 豊明	耳鼻咽喉科
臨床と研究 83(11):94- 100 (2006年11月)	好酸球性中耳炎	鈴木 秀明	耳鼻咽喉科
Prog. Med. 26(11):2633 - 2638 (2006年11月)	V. プライマリケアにおけるSASへの対応 1. 問診・診断 a) SAS疑い例に対する問診のあり方	北村 拓朗	耳鼻咽喉科
日耳鼻会報 109(12):821- 829 (2006年12月)	保育施設園児における鼻咽腔インフルエンザ菌と肺炎球菌の検討	橋田 光一	耳鼻咽喉科
Laryngoscope 116(12):2129- 2132 (2006年12月)	Relationships Among Nasal Obstruction, Daytime Sleepiness, and Quality of Life	Udaka, T.	耳鼻咽喉科

10件

380件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
耳鼻臨床 100(1):47- 50 (2007 年 1 月)	ワルチン腫瘍の臨床統計	鈴木 秀明	耳鼻咽喉科
耳鼻・頭頸外科 79(1):61 - 65 (2007 年 1 月)	陳旧性外傷性中耳髄液漏	藤村 武之	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol 127(2):180 - 185 (2007 年 2 月)	Clinical features of head and neck cancer patients with methicillin-resistant Staphylococcus aureus	Shiomori, T.	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸 79(3):219-223 (2007 年 3 月)	カテコラミン産生が疑われた鼓室型グロームス腫瘍例	大淵 豊明	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸 79(3):243- 246 (2007 年 3 月)	早期に摘出し得た顎下腺魚骨異物例	大淵 豊明	耳鼻咽喉科
Rhinology 45(1):89- 92 (2007 年 3 月)	Oncocytic schneiderian papilloma confined to the sphenoid sinus detected by FDG-PET	Udaka, T.	耳鼻咽喉科
MBENT 73 :6 - 10 (2007 年 3 月)	好酸球性中耳炎の疫学	鈴木 秀明	耳鼻咽喉科
Am J Physiol Endocrinol Metab 291 :1009 - 1016 (2006 年 6 月)	Angiotensin II decreases system A amino acid transporter activity in human placenta villous fragments through AT1receptor activation	Shibata, E.	産婦人科
Gynecologic Oncology 104(2):406 - 410 (2007 年 2 月)	Thromboembolic complications in patients with clear cell carcinoma of the ovary	Matsuura, Y.	産婦人科
日本磁気共鳴医学会 26 (4) : 242-251 (2006 年 4 月)	3T MRI の四肢・関節領域への応用	青木 隆敏	放射線科

10件

390件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Neuroradiol 27(7):1562-1564 (2006年7月)	An unusual case of split cord malformation	森谷 淳二	放射線科
日本臨床 64(7suppl):292-296 (2006年7月)	【インターベンション時代の脳卒中学 超急性期から再発予防まで】脳血管障害総論 診断・治療に関するガイドライン 脳血管障害画像診断のガイドライン	興梠 征典	放射線科
日本臨床 64(7suppl):384-387 (2006年7月)	【インターベンション時代の脳卒中学 超急性期から再発予防まで】脳血管障害総論 画像機器・診断の進歩 脳血管撮影法 3D angiography と FPD システム	掛田 伸吾	放射線科
Am J Roentgenol 187(2):297-306 (2006年8月)	Correlation between numeric gadolinium-enhanced dynamic MRI ratios and prognostic factors and histologic type of breast carcinoma	成定 宏之	放射線科
J Clin Pathol 59(9):978-983 (2006年9月)	Cytogenetic analysis of myxoid liposarcoma and myxofibrosarcoma by array-based comparative genomic hybridisation	大栗 隆行	放射線科
Am J Roentgenol 187(5):1253-1259 (2006年11月)	Effect of temporal subtraction technique on interpretation time and diagnostic accuracy of chest radiography	掛田 伸吾	放射線科
Eur Radiol 16(11):2594-2602 (2006年11月)	Intracranial 2D and 3D DSA with flat panel detector of the direct conversion type:initial experience	畠山 佳久	放射線科
臨床放射線 51(11):1359-1363 (2006年11月)	【Interventional Radiologyのコツ】頭頸部 頭頸部悪性腫瘍の動注療法	掛田 伸吾	放射線科
Anesth Analg 102(4):1285 - 1286 (2006年4月)	Anesthetic management of a patient with Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome (mutation of prion protein)	Ogata, M	麻酔科
人工呼吸 23(1):67-77 (2006年4月)	汎用熱体解析コードを用いた Total Face NPPV マスク内における流れ解析の試み	佐多 竹良	麻酔科

10件

400件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pharmacology 77(2):93- 99 (2006年5月)	The tramadol metabolite, O-desmethyl tramadol, inhibits 5-hydroxytryptamine type 2C receptors expressed in <i>Xenopus</i> Oocytes	Horishita, T.	麻酔科
麻酔 55(9):1168- 1169 (2006年9月)	0.75%ロピバカインを用いた頸部硬膜外ブロック中に全脊髄くも膜下麻酔となった症例	原 幸治	麻酔科
麻酔 55(10):1266- 1269 (2006年10月)	低髄圧症候群の診断に硬膜外生理食塩液注入が有用であった1症例	佐多 竹良	麻酔科
ペインクリニック 27(10):1372-1372 (2006年10月)	Analgesic effect of vitamin E is mediated by reducing central sensitization in neuropathic pain	原 幸治	麻酔科
麻酔 55(12):1484- 1486 (2006年12月)	多薬物アレルギーがある結節性多発動脈炎患者の麻酔経験	南 浩一郎	麻酔科
LiSA 13(12):1148 - 1151 (2006年12月)	糖尿病性腎症や自律神経障害の症状があると心イベントが高い術前検査は慎重に	松本 尚浩	麻酔科
British Journal Of Anaesthesia 98(2):196 - 203 (2007年1月)	Effect of epidural anaesthesia on surgical stress-induced immunosuppression during upper abdominal surgery	Kawasaki, T.	麻酔科
Acta anaesthesiol Scand 51(1):122-128 (2007年1月)	Inhibitory effect of gabapentin on N-methyl-D-aspartate receptors expressed in <i>Xenopus</i> oocytes	Hara, K.	麻酔科
リハビリテーション医学 43(5):310-314 (2006年5月)	視床出血を生じた封入体筋炎の1例	奈良 聡一郎	リハビリテーション科
バイオメカニズム学会誌 30(4):205- 210 (2006年6月)	下肢機能回復支援システム	蜂須賀 研二	リハビリテーション科

10件

410件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本職業・災害医学会 会誌 54(6):252-256 (2006年6月)	外傷性脳損傷者の社会参加状況および活動における性差	佐伯 覚	リハビリテーション科
Free Radical Research 40(7):715 - 722 (2006年7月)	Hindlimb unloading decreases thioredoxin-related antioxidant proteins and increases thioredoxin-binding protein-2 in rat skeletal muscle	Matsushima, Y.	リハビリテーション科
日本私立医科大学理学療法学会誌 (23):71 - 72 (2006年7月)	軸索方ギランバレー症候群に対する歩行ロボットの試み	賀好 宏明	リハビリテーション科
日本臨床 64(7):764- 769 (2006年7月)	片麻痺患者歩行訓練に対する歩行支援ロボットの臨床的有用性	蜂須賀 研二	リハビリテーション科
日本義肢装具学会誌 22(3):154-158 (2006年7月)	ポリオ罹患患者に対するカーボン製長下肢装具の大腿部後面の工夫	和田 太	リハビリテーション科
バイオメカニズム学会誌 30(4):180-183 (2006年7月)	歩行支援ロボットの課題と展望	蜂須賀 研二	リハビリテーション科
Prosthetics and Orthotics International 30(2):129 - 135 (2006年8月)	Clinical application of carbon fibre reinforced plastic leg orthosis for polio survivors and its advantages and disadvantages	Hachisuka, K.	リハビリテーション科
J Clin Rehabil 15(9):818 - 823 (2006年9月)	リハビリテーションを受けたあと—その長期予後は:脳卒中	佐伯 覚	リハビリテーション科
J Rehabil Med 38(5):333 - 335 (2006年9月)	Concurrent Validity of the Community Integration Questionnaire in Patients With Traumatic Brain Injury in Japan	Saeki, S.	リハビリテーション科
日義肢装具会誌 22:184 - 185 (2006年9月)	パーキンソン病患者への懸垂式歩行器の効果	越智 光宏	リハビリテーション科

10件

420件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日義肢装具会誌 22 : 324 - 325 (2006 年 9 月)	BWS walker : 簡便な懸垂式歩行器	牧野 健一郎	リハビリテーション科
日義肢装具会誌 22 : 78 - 79 (2006 年 9 月)	脳卒中の短下肢装具病態による最適な選択	和田 太	リハビリテーション科
日義肢装具会誌 22 : 102 - 103 (2006 年 9 月)	高齢高位下肢切断者と義足 地域での使用実態とメンテナンスの実態	大峯 三郎	リハビリテーション科
日本臨牀 64 : 764 - 769 (2006 年 10 月)	インターベンション時代の脳卒中学 (改訂 第 2 版)	蜂須賀 研二	リハビリテーション科
日義肢装具会誌 22(4) : 210~ 214 (2006 年 10 月)	リハビリテーション医学における工学技術 の役割	蜂須賀 研二	リハビリテーション科
日義肢装具会誌 22(4) : 210~ 214 (2006 年 10 月)	医学と工学技術	蜂須賀 研二	リハビリテーション科
リハ医学 43(11) : 747~ 751 (2006 年 11 月)	歩行障害の治療	越智 光宏	リハビリテーション科
総合リハ 34(12) : 1152~ 1156 (2006 年 12 月)	脳卒中治療—最近の話題リハビリテーション 歩行障害	和田 太	リハビリテーション科
総合リハビリテーション 35(3) : 291-298 (2007 年 3 月)	脳卒中後の職場復帰	佐伯 覚	リハビリテーション科
呼吸 25 (4) : 412-413 (2006 年 4 月)	嚢胞性病変を認めた良性転移性肺平滑筋腫 症の 1 例	國本 政瑞沖	呼吸器内科

10件

430件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
気管支学 28(6):403-404 (2006年9月)	粉じんと喫煙	城戸 優光	呼吸器内科
日本呼吸器学会雑誌 44(10):695-700 (2006年10月)	複数の薬剤にて重症化し、人工呼吸管理を要した薬剤性好酸級性肺炎の1例	中村 武博	呼吸器内科
治療 88(10):2572-2575 (2006年10月)	ニコチン依存度テストの現在と未来 (TDS, FTND, KTSND)	吉井 千春	呼吸器内科
日本禁煙学会雑誌 2(1):6-9 (2007年1月)	加濃式社会的ニコチン依存度調査票を用いた病院職員(福岡県内3病院)における社会的ニコチン依存の評価	吉井 千春	呼吸器内科
分子呼吸器病 11(1):80-82 (2007年1月)	肺障害における Calcitonin Gene-Related Peptide (CGRP) 遺伝子の役割	川波 由紀子	呼吸器内科
呼吸 26(2):186-187 (2007年2月)	経静脈的覚醒剤使用者にみられた右心系感染性心内膜炎に合併した敗血症性肺塞栓症の1例	國本 政瑞沖	呼吸器内科
呼吸 26(3):231-236 (2007年3月)	職業性肺疾患 最近の話題	矢寺 和博	呼吸器内科
Br J Cancer 94(11):1580-1585 (2006年5月)	Blood vessel density correlates with the effects of targeted intra-arterial carboplatin infusion with concurrent radiotherapy for squamous cell carcinomas of the oral cavity and oropharynx	Takagi, S.	歯科口腔外科
J UOEH 28(4):381-394 (2006年11月)	Targeted intra-arterial carboplatin chemoradiotherapy and tegafur/uracil for oral and oropharyngeal cancer.	Ohya, R.	歯科口腔外科
形成外科 49:S31-S35 (2006年11月)	化学損傷	安田 浩	形成外科

10件

440件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本薬剤師会雑誌 58(6):101-107 (2006年6月)	疾患別ガイドラインと薬物療法-⑨骨粗鬆症-	川道 直子	薬剤部
Naunyn Schmiedebergs Arch Pharmacol. (374):107 - 116 (2006年10月)	Capsaicin inhibits catecholamine secretion and synthesis by blocking Na(+) and Ca (2+) influx through a vanilloid receptor-independent pathway in bovine adrenal medullary cells.	Takahashi, K.	薬剤部
日本放射線技術学会雑誌 62(5):698-710 (2006年5月)	新旧 JARP 標準測定法に従った円筒形及び平行平板形電離箱の校正点吸収線量の評価に関する研究班報告	吉浦 隆雄	放射線部
九州部会誌 5(2):10-19 (2006年8月)	放射線治療装置の設置時における受入試験と検証	吉浦 隆雄	放射線部
放射線治療研究会雑誌 19(1):17-26 (2006年11月)	リニアック導入における受入試験の実際から検証まで	吉浦 隆雄	放射線部
日本エム・イー学会誌, 生体医工学 44(3):435 - 444 (2006年12月)	胸部単純X線写真における他人による類似差分画像のための類似画像検索システムの開発 Development of Computerized System for Selection of Similar Image from Different Patients for Image Subtraction of Chest Radiographs	小田 敏弘	放射線部
医工学治療 18(52):177-177 (2006年4月)	CAPD セミナー 2 PD first と残腎機能	田村 雅仁	腎センター
Peritoneal Dialysis International 26:21 - 21 (2006年8月)	Effects of icodextrin on the integrin-mediated wound healing of peritoneal mesothelial cells (PMCs)	Tamura, M.	腎センター
Journal of the American society of Nephrology 17:30A (2006年11月)	Effects of icodextrin on the integrin-mediated wound healing of peritoneal mesothelial cells	Tamura, M.	腎センター
Journal of the American society of Nephrology 17:246A (2006年11月)	B1 integrin-mediated induction of inflammatory-related genes in mesangial cells	Tokunaga, M.	腎センター

10件

450件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of the American society of Nephrology 17:612A (2006年11月)	C-reactive protein induces human mesangial cell proliferation Via phosphorylation of protein kinase C	Tokunaga, M.	腎センター
日高圧医誌 41:101-105 (2006年6月)	第4回カロリンスカ大学院課程 —臨床高気圧酸素治療—	合志 清隆	高気圧治療部
日高圧医誌 41:115-119 (2006年6月)	"The Hyperbaric Research Prize"の新設	合志 清隆	高気圧治療部
ICUとCCU 30:585-587 (2006年8月)	Karolinska 大学病院の高気圧治療部門	合志 清隆	高気圧治療部
産業医大誌 28:349-352 (2006年9月)	ストックホルムから高気圧集中治療が変わる臨床高気圧酸素治療に関する第4回カロリンスカ大学院コースの報告	合志 清隆	高気圧治療部
No Shinkei Geka 34(10):1042-1043 (2006年10月)	悪性脳腫瘍がドイツ政府の支援する適応疾患に 4th Karolinska Postgraduate Course in Clinical Hyperbaric Oxygen Therapy	合志 清隆	高気圧治療部
産業医大誌 28(4):439-441 (2006年12月)	産業医科大学の臨床研究「脳腫瘍に対する定位的放射線治療後の放射線障害を高気圧酸素で予防」が初回の最優秀賞に国際高気圧・潜水医学会総会にて	合志 清隆	高気圧治療部
日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 41:249-264 (2006年12月)	高気圧医学に関連した論文の年間レビュー 2006 UHMS 年次大会の講演から	合志 清隆	高気圧治療部
日集中医誌 14(1):99-100 (2007年1月)	集中治療における高気圧酸素の役割	合志 清隆	高気圧治療部
医学のあゆみ 220(3):252-253 (2007年1月)	高気圧酸素を応用した集中治療の現状と将来	合志 清隆	高気圧治療部

10件

460件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日高圧医地方会誌 7:51-54 (2007年2月)	Global HBO practice: Japan 4th Karolinska postgraduate course in clinical hyperbaric medicine	合志 清隆	高気圧治療部
日本高気圧環境・潜水 医学会雑誌 42:35-39 (2007年3月)	ポーランドの高気圧酸素治療の状況 カロリンスカ大学院コースから	合志 清隆	高気圧治療部
Dis Colon Rectum 49(9):1393-1398 (2006年9月)	Comparison of glucagon and scopolamine butylbromide as premedication for colonoscopy in unsedated patients.	Yoshikawa, I.	内視鏡部
日本呼吸療法医学会・ 人工呼吸 23(1):67-77 (2006年4月)	汎用熱流体解析コードを用いた Total Face NPPV マスク内における流れ解析の試み	田仲 浩平	中央材料部
日本機械学会 第17 回バイオフロンティア 講演会論文集 6(26):45-46 (2006年11月)	体外循環路の屈曲で発生する水撃作用の検 討	田仲 浩平	中央材料部
日本高気圧環境医学会 九州地方会誌 7:36-40 (2007年2月)	第2種装置における停電を経験して	上村 秀彦	中央材料部
臨床病理 54(8):850-852 (2006年8月)	免疫疾患検査の特性再評価と効率的利用法 (1)	大田 俊行	臨床検査・輸血部
臨床病理 54(8):861-868 (2006年8月)	関節リウマチの診療と免疫検査	大田 俊行	臨床検査・輸血部
九州リウマチ 26(2):81-85 (2007年3月)	関節リウマチ診療と超音波検査:早期診断 における有用性について	大田 俊行	臨床検査・輸血部
癌と化療 33(5):694-695 (2006年5月)	産業医科大学病院の化学療法センター	浦本 秀隆	化学療法センタ ー

10件

470件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
産業医大誌 28(2):209-215 (2006年6月)	外来化学療法の経済効果	浦本 秀隆	化学療法センター
Fukuoka Igaku Zasshi 97(6):175-182 (2006年6月)	Retrospective analysis of cord blood transplantation on 62 adult patients with advanced hematological malignancies	Tsukada, J.	化学療法センター
臨と研 83(7):1046-1049 (2006年7月)	皮下埋め込み式ポートにおける留置針の前向き臨床研究	浦本 秀隆	化学療法センター
産業医大誌 28(3):287-294 (2006年9月)	乳癌の内分泌療法	浦本 秀隆	化学療法センター
癌と化療 33(11):1681-1683 (2006年11月)	外来化学療法に患者は何を望むか	浦本 秀隆	化学療法センター
Bone Marrow Transplant 38(10):681-686 (2006年11月)	Mismatch of minor histocompatibility antigen contributes to a graft-versus-leukemia effect rather than to acute GVHD resulting in long-term survival after HLA-identical stem cell transplantation in japan	Tsukada, J.	化学療法センター
日循環器予防誌 41(2):80-85 (2006年10月)	循環器病の疫学における職業性ストレスの評価	堤 明純	産業医実務研修センター
産業ストレス研究 2006 13(4):211-217 (2006年12月)	職業性ストレス調査票と職場環境改善のためのヒント集を活用した職場改善	堤 明純	産業医実務研修センター
糖尿病ケア 3(12):78-80 (2006年12月)	糖尿病患者さんのおでかけ推進委員会帰省	矢野 百合子	看護部

9件

479件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

(平成 19 年 10 月 1 日現在)

管理責任者氏名	病 院 長 柏 村 正 道
管理担当者氏名	医療情報部長 舟谷 文男、 放射線部長 興 梶 征 典 看護部長 奥川 満子、 薬剤部長 高橋 浩二郎 病院管理課長 占部 正夫、 医事課長 今川 隆元

		保 管 場 所	分 類 方 法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		病 歴 室 薬 剤 部 放 射 線 部 看 護 部 各診療科外来 病院管理課	電子カルテ以前の手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、入院中の診療経過の要約及び電子カルテ以降の入院・外来ファイルに添付の諸記録は病歴室で保管。(但し外来診療録及びファイルに添付の諸記録は、最終診療日から3ヶ月以内の物については、各診療科外来で保管) 最終撮影日から1年以内のエックス線写真は放射線部で保管。 処方せんは薬剤部で保管。 各科診療日誌は看護部で保管。 病院日誌は病院管理課で保管。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病 院 管 理 課		
	高度の医療の提供の実績	病 院 管 理 課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病 院 管 理 課		
	高度の医療の研修の実績	病 院 管 理 課		
	閲覧実績	病 院 管 理 課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医 事 課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医 事 課 及 び 薬 剤 部		
	規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部及び 病院業務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部及び 病院業務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部及び 病院業務課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医 事 課	
		医療に係る安全管理のための指針の整理状況	医療安全管理部及び 病院業務課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部及び 病院業務課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部及び 病院業務課	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部及び 病院業務課			

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

(平成 19 年 10 月 1 日現在)

閲覧責任者氏名	病院事務部長 小野山 眞 治
閲覧担当者氏名	病院管理課長 占 部 正 夫, 病院管理課長代理 江 口 政 洋
閲覧の求めに応じる場所	応接室兼診療情報等閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績 (平成 18 年度分)

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

(平成 18 年度分)

紹 介 率	76.2%	算定期間	平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日
算出根拠	A: 紹介患者の数	12,289人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,922人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,425人	
	D: 初診の患者の数	22,086人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をB、Dの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれ延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
・ 所属職員： 専任(2)名 兼任(1)名 (専任：医療安全管理者(1名) 病院感染対策者(1名)、兼任：医師(1名)) ・ 活動の主な内容： インシデント・アクシデントについての情報収集・分析・評価 医療事故防止のための研修・教育 医療安全対策の推進にかかること、連絡調整に関すること ※医療安全管理部の事務部署：病院事務部病院業務課(4名)	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・ 指針の主な内容： ① 安全管理に関する基本的考え方 ② 安全管理のための委員会に関する基本的事項等	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 32回
医療安全対策委員会(4回)、医療事故防止委員会(12回)、病院感染防止委員会(16回)	
・ 活動の主な内容： 医療安全対策を推進し、より安全な医療を提供するための活動	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年36回
・ 研修の主な内容： ① 業務から起こりうる事故を知り、事故防止対策が実践できること ② 安全に対する意識の向上	

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

平成18年度

- ① インフォームド・コンセントの充実に向けて
 - a) インフォームド・コンセントの規定や指針の改正、
 - b) 説明文書の標準化、
 - c) システムの運用
- ② 弾性ストッキングの添付文書の改定 (メーカーへの提言)
- ③ AEDボックス設置、2005年ガイドラインへの対応
- ④ 浴室の安全管理体制 (安全確認、啓発ポスター、マニュアル)
- ⑤ 離院マニュアル作成
- ⑥ 転倒予防用具：離床コールの導入
- ⑦ 酸素器具を誤接続防止対応器具に変更

平成19年度

- ① 肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症予防のマニュアル作成
- ② 末梢静脈輸液ルート生食ロック用のプレフィルドシリンジの導入
- ③ ICシステムのテンプレートの内容変更
- ④ 輸血拒否患者への対応指針作成
- ⑤ ポケット医療安全マニュアルの改訂